

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
※
※
※ 2016 年 度 事 業 報 告 書
※
※
※
※
※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

公 益 財 団 法 人 武 田 科 学 振 興 財 团

2016 年度 事業報告書

公益財団法人 武田科学振興財団

本年度は、事業の中核をなす研究助成事業について、現行 10 の研究助成プログラムを継続し、2010 年度創設のビジョナリーリサーチ助成で、初めて継続助成〔ジャンプ〕を 1 件贈呈した。

(1) 科学技術に関する研究機関および研究者に対する研究助成（研究助成）

- ① 武田報彰医学研究助成は、理事、評議員、名誉顧問、武田医学賞選考委員、武田医学賞受賞者、日本学士院会員〔第 7 分科〕、日本学士院賞受賞者〔1999 年以降医学関連〕の 91 名から推薦された、研究室立上げ 3 年未満の医学系研究者を対象に、選考委員会で決定し、1 件 3,000 万円 9 件 計 2 億 7,000 万円を贈呈した。
- ② 生命科学研究助成は、生命科学分野の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 1,000 万円 30 件 計 3 億円を贈呈した。
- ③ ライフサイエンス研究奨励は、医学・歯学・薬学系研究機関以外の生命科学研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 30 件 計 6,000 万円を贈呈した。
- ④ 医学系研究奨励は、医学系の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 261 件（がん領域、精神・神経・脳領域、感染症、基礎、臨床；各採択率は一律とする。）計 5 億 2,200 万円を贈呈した。
継続助成は、本研究奨励の 2013 年度および 2014 年度被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 300 万円 21 件（がん領域 2 件、精神・神経・脳領域 4 件、感染症 2 件、基礎 8 件、臨床 2 件、生活習慣病 3 件、）計 6,300 万円を贈呈した。
- ⑤ 薬学系研究奨励は、薬学系の研究者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1 件 200 万円 45 件 計 9,000 万円を贈呈した。
継続助成は、本研究奨励の 2013 年度および 2014 年度被助成者を対象に公募を行

い、選考委員会で決定し、1件 300万円 5件 計 1,500万円を贈呈した。

- ⑥ 特定研究助成は、研究機関を対象として、我が国の医学の発展に寄与する共同研究を対象に公募を行ない、選考委員会で決定し、1件 4,000万円～5,000万円 17件 計 8億円を贈呈した。
- ⑦ ビジョナリーリサーチ助成〔スタート〕は、医学分野の進歩・発展に貢献する将来に向けて夢のある、成功すれば卓越した成果が期待できる研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 200万円 27件 計 5,400万円を贈呈した。さらに成果が期待できる研究に対しては、継続助成を実施する。
- 本年度継続助成〔ホップ〕は、2013年度および2014年度〔スタート〕被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 500万円 11件 計 5,500万円を贈呈した。
- 本年度継続助成〔ステップ〕は、2013年度および2014年度〔ホップ〕被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 1,000万円 6件 計 6,000万円を贈呈した。
- 本年度継続助成〔ジャンプ〕は、2014年度〔ステップ〕被助成者を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 3,000万円 1件 計 3,000万円を贈呈した。
- ⑧ 高等学校理科教育振興奨励は、全国の高等学校およびそれに準ずる教育機関に所属する教員および職員を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 30万円 43件 計 1,290万円を贈呈した。
- ⑨ 中学校理科教育振興奨励は、全国の中学校およびそれに準ずる教育機関に所属する教員および職員を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 30万円 31件 計 930万円を贈呈した。
- ⑩ 杏雨書屋研究奨励は、杏雨書屋所蔵資料に関する研究を対象に公募を行い、選考委員会で決定し、1件 40～90万円 6件 計 410万円を贈呈した。

以上、研究助成の贈呈金総額は 23億 4,530万円（対前年度実績比 6億 8,270万円増）となった。

(2) 研究者および学生に対する奨学助成（奨学助成）

① 外国人留学研究者に対する助成（外国人留学助成）

日本において医学・薬学などの医療分野で研究する外国人留学研究者に対する留学助成を行った。

本年度は、7指定国より41名、その他の国より11名、計52名の留学者が来日し、留学助成金として総額9,927万円を支給した。

なお、1964年に本事業を開始して以来、2017年3月末までに留学助成した外国人留学研究者の総数は41カ国から1,561名である。

本年度に留学助成を行った来日留学研究者数は、次の通りである。

<2017年3月31日現在(来日ベース)>

国 別	2016年度 計画 (人數)	実 績 (人數)				備 考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台 湾	6	2			2	4名承認。2名来日。
タ イ	8	7			7	8名承認。7名来日。
フィリピン	8	8			8	8名承認。8名来日。
韓 国	5	1			1	2名承認。1名来日。
中 国	10	9	1		10	9名承認。10名来日。
インドネシア	8	9	1	1	11	9名承認。11名来日。
ベトナム	6	1	1		2	4名承認。2名来日。
7カ国 小計	51	37	3	1	41	
上記7カ国以外	10	10		1	11	10名承認。8名来日、3名は申請時不在。
総 計	61	47	3	2	52	

② 医学部博士課程入学者に対する助成（医学部博士課程奨学助成）

医学部医学科卒業見込学生および医学部医学科卒業者で国内の指定7大学(東京大学、京都大学、大阪大学、名古屋大学、北海道大学、東北大学、九州大学)の医学(系)研究科博士課程基礎医学系への入学者に対し、奨学金(年間360万円、各大学から計13名)の支給を行う事業を実施した。

2013年度から2015年度の奨学助成者36名と合わせて計49名に、総額1億7,640万円を奨学助成した。また、2014年度助成者で継続奨学助成の推薦を受けた者(12名)の中から、審査の上、研究優秀者に対して1件50万円 2件 計100万円を追加奨学助成した。

以上から、医学部博士課程の奨学金総額は、1億7,740万円となった。

なお、5月26日(木)に第5回医学部博士課程奨学助成認定式を実施した。

(3) 科学技術に関する注目すべき研究業績に対する褒賞（武田医学賞）

7月8日（金）に開催した選考委員会において、20件18名の候補につき7名の選考委員による慎重かつ公正な選考の結果、医学界において顕著な業績を上げられた2名（下記参照）の褒賞を決定した。

受賞者には、11月14日（月）開催の贈呈式において、武田医学賞（賞状と賞牌と盾）および副賞（1件1,500万円）をそれぞれ贈呈した。

豊島 近 博士

現 職：東京大学 教授

対象研究課題：イオンポンプの輸送・制御機構の原子構造による解明

斎藤 通紀 博士

現 職：京都大学 教授

対象研究課題：生殖細胞の発生機構の解明とその試験管内再構成

(4) 科学技術に関する時流に合ったテーマによる国際シンポジウムの開催（国際シンポジウム）

第19回 武田科学振興財団生命科学シンポジウム The 19th Takeda Science Foundation Symposium on Bioscience を開催する。

テーマ：「慢性炎症：機序と制御」

“Chronic Inflammation – Initiation, Progression and Resolution”

組織委員長：宮坂 昌之 先生（大阪大学 名誉教授）

組織委員：審良 静男 先生（大阪大学 教授）

松島 紹治 先生（東京大学 教授）

講 演：21名（国内10名、国外11名）

ポスター発表（91件）

会 期：2017年1月20日（金）～21日（土）

会 場 所：武田薬品研修所（大阪府吹田市）

参 加 者：363名

シンポジウムポスター褒賞金は、ポスター発表者を対象に、組織委員会で構成する選考委員会で決定し、1件50万円 7件 計350万円を贈呈した。（褒賞）

(5) 科学技術の振興に関する出版物の発刊（本草医書発刊）

6月、杏雨書屋機関誌「杏雨」19号を発刊した。

また、2月に「杏雨書屋蔵 磯砂版大藏経目録 第一冊」を300部、3月に「杏雨書屋所蔵 痘草紙模本集成」を500部発刊した。

(6) 東洋医書その他図書資料の保管、整理、収集および公開（本草医書公開）

① 保管・整理

複写53,583枚、複写製本475冊、補修675冊を行った。

② 公開

閲覧者は121名（閲覧図書546部、1,841冊）、複写依頼は52名（複写部数154部、5,460枚）、展示室見学者は4,340名（特別展示会を含む。）であった。

<常設展示会>

「医学・薬学にまつわる素材と道具類」をテーマに開催した。（見学者4,340名）

<特別展示会>

(i) 春季：4月18日（月）～23日（土）に「近年収蔵の植物関係資料」をテーマに開催した。（見学者168名）

(ii) 秋季：10月17日（月）～22日（土）、生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪11月5日（土）、神農祭11月22日（火）～23日（水）に「杏雨書屋の蔵書印」をテーマに開催した。（見学者2,600名）

③ 研究講演会

i) 第35回 研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2016年4月23日（土）13:00～15:00

場 所：武田科学振興財団 5階

演 題：香薬鈔と密教

演者：古泉 圓順氏（和宗 圓鏡寺 住職）

演 題：植物学文献と学名

演者：永益 英敏氏（京都大学総合博物館 教授）

参加者：97名

ii) 第36回研究講演会を以下の通り行った。

日 時：2016年10月22日（土）13:00～15:00

場 所：武田科学振興財団 5階

演 題：蔵書印について

演者：堀川 貴司氏（慶應義塾大学附属研究所 斯道文庫 教授）

演題：杏雨書屋蔵書に押された印影の調査

演者：平松 賢二氏（武田科学振興財団 特別研究員）

参加者：85名

④ 稀観本購入

本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本間玄調宛書簡 2点

千魚一觀録 1点

小曾戸文庫 632点

スメリ－「産科学解剖図録」 1点

時還読我書捷見 1点

參製口訣稿本 二種 2点

宋本素問版心文字録 1点

遊仙窟 1点

劉向新序 十卷 2点

素女妙論 2点

黃素之妙論 1点

黃素妙論 1点

釋糸付釋麻 1点

東大寺古文書 1点

以上

事業報告附属明細書

別表(1) 2016年度研究助成金贈呈者明細

別表(2) 2016年度来日外国人留学研究者(国別人数)

別表(3) 2016年度外国人留学研究者明細

別表(4) 国別外国人留学研究者数累計

別表(5) 2016年度医学部博士課程奨学助成者明細

別表(6) 第19回武田科学振興財団生命科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者明細

2016年度研究助成金贈呈者明細

武田報彰医学研究助成			
氏名	所属機関	職位	研究題目
浦 聖恵	千葉大学大学院理学研究科 クロマチン代謝制御研究室	教授	ヒストン修飾を介した転写活性領域にプログラムされたゲノム維持機構
岡田 康志	東京大学理学系研究科物理学専攻生物物理学教室	教授	神経細胞の細胞内物質輸送を担う分子モーターの力学的運動特性とその制御が細胞機能・神経変性疾患に与える影響の定量解析
小田 賢幸	山梨大学大学院総合研究部医学域基礎医学系 解剖学講座構造生物学教室	教授	クライオ電子トモグラフィーを用いた纖毛の運動と構築メカニズムの解明
河合 太郎	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 分子免疫制御研究室	教授	自然免疫受容体を介する核酸認識機構の解明
小早川 令子	関西医科大学附属生命医学研究所	学長特命教授	先天的と後天的な情動行動の制御機構の解明
花田 俊勝	大分大学医学部細胞生物学講座	教授	RNA代謝に関連する疾患の病態機構解明
華山 力成	金沢大学医薬保健研究域医学系	教授	エクソソームによる脳内自己炎症の発症機序
眞鍋 一郎	千葉大学大学院医学研究院長寿医学	教授	組織恒常性の維持と破綻における組織マクロファージの細胞間・臓器間連携制御機序の解明
横須賀 忠	東京医科大学医学部 医学科 免疫学分野	主任教授	分子イメージングによるT細胞シグナルソームを介した免疫応答制御機構の解明

9件

生命科学研究助成			
氏名	所属機関	職位	研究題目
新 竜一郎	宮崎大学医学部感染症学講座微生物学分野	教授	ドラッグ・リポジショニングによるプリオン病の予防・治療法の開発
阿部 理一郎	新潟大学歯学総合研究科 皮膚科	教授	腸内細菌(ピロリ菌)アレルギーの発症機序解明
井上 徳光	大阪府立成人病センター研究所・腫瘍免疫学部門	部門長	乳酸で誘導される微小環境を標的にした新しいがんの免疫療法
井上 啓	金沢大学新学術創成研究機構革新的統合バイオ研究コア 栄養・代謝研究ユニット	教授	肝臓での慢性炎症制御における迷走神経・アセチルコリンの役割の解明
片山 義雄	神戸大学医学部附属病院血液内科	講師	骨代謝と脂質代謝の連携による一次リンパ臓器制御機構の解明
川内 健史	先端医療振興財団先端医療センター研究所 医薬品開発研究グループ	上席研究員	神経細胞の機能成熟をモデルとした脳における細胞社会の構築原理の解明
河崎 洋志	金沢大学脳・肝インターフェイスメディシン研究センター 分子神経科学部門	教授	脳神経系の形成制御機構とその異常による疾患病態の解明
幸谷 愛	東海大学総合医学研究所 造血腫瘍分野	准教授	転写因子非依存的細胞運命決定の機序
後藤 英仁	愛知県がんセンター研究所腫瘍医化学部	室長	一次線毛チェックポイントの分子機構
小林 武彦	東京大学分子細胞生物学研究所 ゲノム再生研究部門	教授	細胞における老化誘導シグナルの同定
坂場 武史	同志社大学大学院脳科学研究科 シナプス分子機能部門	教授	シナプス伝達・可塑性のナノ生理学
佐々木 洋	大阪大学大学院生命機能研究科、初期胚発生研究室	教授	細胞競合の分子機構と個体発生・組織構築に果たす役割の研究
佐渡 敏	近畿大学農学部バイオサイエンス学科動物分子遺伝学研究室	教授	多能性幹細胞のエピジェネティクスとクロマチンの可塑性
椎名 伸之	基礎生物学研究所神経細胞生物学研究室	准教授	mRNA輸送・局所的翻訳による学習・記憶制御機構の解明
Sheng Guojun	熊本大学国際先端医学研究機構 Sheng 研究室	特別招聘教授	膀胱膜融合における中皮細胞の上皮間葉転換調節メカニズム
武田 弘資	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 生命薬科学専攻 細胞制御学分野	教授	ミトコンドリアストレスの感知と応答機構の解明
角田 健一	医薬基盤・健康・栄養研究所医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト	プロジェクトリーダー	タンパク質工学的手法によるサイトカイン-レセプター相互作用の複雑性の理解と革新的創薬
中岡 良和	国立循環器病研究センター研究所血管生理学部	部長	炎症シグナルによる肺高血圧症の発症機構の解明と新しい治療法の開発
中村 元直	岡山理科大学大学院 理学研究科 臨床生命科学専攻 細胞情報学研究室	教授	ロイコトリエンB4受容体のシグナル変換機構の解明と創薬への展開
根岸 貴子	昭和大学歯学部歯科薬理学	講師	ロコモーティブネットワークの理解に立脚した健康長寿
濱崎 洋子	京都大学医学研究科 免疫細胞生物学	准教授	免疫老化を担う分子細胞学的基盤の解明
原田 高幸	東京都医学総合研究所 運動・感覚システム研究分野 視覚病態プロジェクト	分野長、プロジェクトリーダー	視機能障害を引き起こす神経変性疾患の病態解明と治療法の開発
深田 正紀	生理学研究所分子細胞生理研究領域 生体膜研究部門	教授	脳高次機能におけるS-アシル化サイクルの生理的意義の解明
古川 貴久	大阪大学蛋白質研究所 分子発生学研究室	教授	網膜神経回路の構築と機能メカニズムの解析
樹 正幸	筑波大学医学医療系 分子神経生物学グループ	教授	ヘパラン硫酸糖鎖の特異的な硫酸化修飾による高次脳機能制御機構の解明
升井 伸治	京都大学iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 升井研究室	特定拠点講師	網羅的ゲノム機能解析法の開発
宮成 悠介	岡崎統合バイオサイエンスセンター核内ゲノム動態研究部門	特任准教授	クロマチン高次構造の1分子解析手法の構築
ムーア エイドリアン	理化学研究所脳科学総合研究センター 神経形態遺伝学研究チーム	チームリーダー	神経幹細胞の周期的遺伝子発現量変化とクロマチン構造変換による制御機構
村川 泰裕	理化学研究所予防医療・診断技術開発プログラム	マネージャー	エンハンサーの高感受度同定により腫瘍の遺伝子発現異常の機序を探求する

山中 宏二	名古屋大学環境医学研究所・病態神経科学分野	教授	神経炎症を標的とした神経変性疾患の病態解明と治療法開発
-------	-----------------------	----	-----------------------------

30件

ライフサイエンス研究奨励

氏名	所属機関	職位	研究題目
石川 香	筑波大学生命環境系 分子細胞生物学分野	助教	ミトコンドリアDNAのランダムな突然変異が呼吸欠損を誘導する理由
伊藤 拓宏	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター 構造・合成生物学部門 翻訳因子構造解析研究ユニット	ユニットリーダー	真核生物の翻訳開始制御機構の解明
今村 公紀	京都大学薬長類研究所 ゲノム細胞研究部門 ゲノム進化分野	助教	チンパンジーiPS細胞を用いた神經発生・疾患の「ヒト化」分子基盤の解明
上田 潤	中部大学実験動物教育研究センター	助教	精巣特異的ヒストンバリエントH3tの精子形成過程での役割解明
太田 苗	甲南大学自然科学研究科 生体調節額研究室 / 統合ニューロバイオロジー研究所	研究員、日本学術振興会特別研究員RPD(兼任)	温度適応における精子遺伝子gsp-3を介した神經系へのフィードバック
角田 茂	東京大学大学院農学生命科学研究科 獣医学専攻 病態動物医科学講座 実験動物学研究室	准教授	非古典的な細胞内インターロイキン1シグナル機構のin vivo解析
神戸 大朋	京都大学大学院生命科学研究科 生体情報応答学分野	准教授	細胞外ヌクレオチド代謝における亜鉛の働きについての検討と実証
木田 泰之	産業技術総合研究所創薬基盤研究部門 バイオセラピューティック研究グループ	主任研究員	多能性幹細胞由来の誘導自律神經による臓器間ネットワークの再構成
金 信一	京都大学iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門 ウォルツェン(Woltjen)研究室	ポスドク	iPS細胞を用いた γ δ β -サラセニア病態モデルの構築および治療法の開発
清中 茂樹	京都大学大学院工学研究科 合成・生物化学専攻 浜地研究室	准教授	神經伝達物質受容体サブタイプ特異的な活性化方法の開発
倉永 英里奈	理化学研究所多細胞システム形成研究センター 純粋形成ダイナミクス研究チーム	チームリーダー	生体内における集団細胞移動の作動原理
小林 功	金沢大学理工学域 自然システム学系 幹細胞発生学研究室	助教	造血幹細胞の発生を制御する細胞接着分子の同定と機能解析
笹井 紀明	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科・発生医学研究室	准教授	神經組織の成長とパターン形成の統合的な分子機構の解明
佐藤 尚子	理化学研究所統合生命医科学研究センター 粘膜システム研究グループ	研究員	食事由来抗原が炎症性腸疾患に及ぼす影響と腸内細菌叢による制御解析
佐藤 純	金沢大学新学術創成研究機構 教理神経科学ユニット	教授	脳のカラム形成を制御する分子機構の解明
閔 元昭	東京大学先端科学技術研究センター 合成生物学分野	特任助教	ダブルニッキング法とDNAバーコードを用いた高精度遺伝子破壊スクリーニングの開発
田中 洋光	京都大学大学院理学研究科 生物科学専攻 生物物理学系 神経生物学講座	助教	超解像技術を用いたシナプス後膜における受容体局在変化の解明
鳥山 道則	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科・神経システム生物学研究室	助教	神經系における纖毛病発症機序の解明
中務 邦雄	名古屋大学大学院理学研究科 生命物理学専攻 分子修飾制御学グループ	講師	ユビキチンシステムによるオルガネラ膜接触部位複合体の制御機構
花田 耕介	九州工業大学 若手研究者フロンティア研究アカデミー	准教授	植物の形態形成に関わる新規の短い遺伝子の探索
日野 智也	島取大学大学院工学研究科 化学・生物応用工学専攻 構造生物学研究室	准教授	アデノシン受容体サブタイプ選択的薬剤開発の立体構造基盤
賀闇 淳	京都大学農学研究科 応用生命科学専攻 制御発酵学分野	特任准教授	小胞体グルタチオントランスポーターによるタンパク質品質管理
三浦 佳子	九州大学大学院 工学研究院化学工学部門	教授	精密重合を基盤とした糖鎖高分子による抗体様ナノメディシンの開発
三嶋 雄一郎	東京大学分子細胞生物学研究所 RNA機能研究分野	助教	遺伝暗号に隠されたmRNA安定性コードの研究
三好 知一郎	京都大学大学院 生命科学研究科 統合生命科学専攻 細胞周期学分野 石川冬木研究室	准教授	宿主因子によるヒト転移因子LINE-1のゲノム伝播制御機構の解明
村瀬 浩司	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科細胞間情報学研究室	助教	アスペラガスにおける性決定機構の解明
矢野 隆章	東京工業大学物質理工学院 応用化学系 原(正)研究室	助教	電気刺激ナノ光プローブを用いた生体分子認識反応制御法の確立
山口 聰一郎	北海道大学大学院獣医学研究科比較形態機能学講座薬理学教室	助教	難聴の原因となる膜タンパク質による新しい転写調節機構の実証
山口 暢俊	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 花発生分子遺伝学研究室	助教	植物のヒストンメチル化酵素による脱分化制御機構の解析
吉田 圭介	理化学研究所 筑波事業所 石井分子遺伝学研究室	特別研究員	親の衛生環境が次世代に及ぼす影響とその分子機構の解析

30件

医学系研究奨励

《がん領域・基礎》

氏名	所属機関	職位	研究題目
天野 創	滋賀医科大学産科学婦人科学講座	助教	新規機能性ナノ粒子ND30-PG-VPを用いた悪性腫瘍に対する光線力学療法
荒木 真理人	順天堂大学大学院医学研究科 輸血・幹細胞制御学	准教授	変異型分子シャペロンによるサイトカイン受容体活性化メカニズムの解明
家村 顕自	東北大学 分子腫瘍学研究分野 加齢医学研究所	助教	染色体不安定性によって誘導される発がん及びがんの悪性化機構の解明
宇井 彩子	聖マリアンナ医科大学応用分子腫瘍学	特任講師	細胞がん化における転写とDNA修復の共役機構の解明
大上 直秀	広島大学大学院医歯薬保健学研究院分子病理学研究室	准教授	消化管癌における核内lncRNAの網羅的解析とその標的遺伝子の同定

大坪 和明	熊本大学大学院 生命科学研究所 先端生命医療科学部門 医療技術科学講座	教授	がん転移促進因子-Sialyl-Tn抗原を標的とした新規抗がん剤の開発研究
大橋 真也	京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座	助教	アセトアルデヒド代謝酵素(ALDH2)活性化による食道がん予防法の開発
大平 真裕	広島大学病院 消化器・移植外科	助教	肝臓特異的放射線照射を用いた肝臓内在NK細胞の癌免疫機構の解明
笠原 敦子	金沢大学がん進展制御研究所 遺伝子・染色体構築分野	助教	悪性神経膠腫(グリオーマ)におけるミコンドリア動態の果たす役割の解明
金子 修三	国立がん研究センター研究所がん分子修飾制御学分野	ユニット長	タンパク質脱メチル化酵素を標的とした新規分子標的治療薬の創生
金崎 里香	弘前大学大学院医学研究科 テニュアトラック(小児科学領域)	助教	ダウン症にみられる白血病の発症機序の探索
菊繁 吉謙	九州大学大学院 医学研究院 応用病態修復学	助教	ヒト白血病幹細胞特異的代謝経路の同定
北谷 和之	東北大学 東北メディカル・メガバンク機構／大学院医学系研究科 産科婦人科	助教	セラミド合成酵素の腫瘍生物学と新たな癌治療戦略基盤の構築
齊藤 泰之	神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 シグナル統合学	講師	食食細胞-がん細胞相互作用を制御する新たながん免疫療法の開発
齋藤 祐介	宮崎大学医学部機能制御学講座腫瘍生化学分野	講師	白血病発症段階における代謝リプログラミングの機能解析
佐藤 龍洋	愛知県がんセンター研究所分子腫瘍学部	主任研究員	中皮腫細胞の新規治療標的分子の同定と解析
佐藤 悠佑	東京大学医学部附属病院 泌尿器科	助教	網羅的ゲノム解析による尿路上皮癌の分子病態の解明
志馬 寛明	北海道大学大学院医学研究科免疫学分野	助教	発がんを抑制する自然免疫シグナル経路の同定
下田 将之	慶應義塾大学医学部 病理学教室	専任講師	エピゲノム解析に基づいた生物学的新規がん関連線維芽細胞マーカーの探索
城村 由和	名古屋市立大学大学院医学研究科 細胞生化学	助教	細胞老化におけるヒストンメチル化酵素EZH1を介したエピジェネティック制御機構
進藤 岳郎	佐賀大学医学部 血液・腫瘍内科	助教	MEK阻害剤を用いた造血幹細胞移植における免疫抑制療法の最適化
神力 悟	熊本大学大学院生命科学研究所 臨床病態解析学分野	講師	休眠骨髓播種癌細胞の包括的解析から迫る転移・再発機構の解明
鈴木 淳平	愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学	特定助教	エネルギー代謝調節を介したT細胞老化・疲弊制御法の開発
高橋 晓子	がん研究会がん研究所がん生物部	主任研究員	non-coding RNAを標的とした新規がん治療法の開発
高原 健	大阪医科大学 泌尿生殖・発達医学講座 泌尿器科学教室	講師	再燃前立腺癌に対する次世代の治療 -体性間葉系幹細胞を用いたテラーメイド翻素中性子捕捉療法(BNCT)の確立-
武田 大介	神戸大学大学院医学研究科 外科系講座口腔外科学分野	医学研究員	癌微小環境・癌幹細胞制御による新規口腔癌治療法の開発
竹林 慎一郎	三重大学大学院医学系研究科?機能プロテオミクス分野	講師	代謝リモデリングによる老化細胞の機能制御
谷上 賢瑞	東京大学分子細胞生物学研究所 分子情報研究分野	助教	lncRNA-転写因子複合体が制御する大腸癌の腫瘍形成能維持機構の解明
田之上 大	理化学研究所統合生命医科学研究センター	基礎科学特別研究員	癌免疫応答を誘導する腸内細菌種の探索とその治療効果
田守 洋一郎	国立遺伝学研究所構造遺伝学研究センター 遺伝子回路研究室	助教	異形成の起点となる内在的組織構造の解明
仲宗根 秀樹	自治医科大学附属さいたま医療センター 血液科	講師	性別不一致造血細胞移植におけるY染色体抗原への同種応答と抗腫瘍効果
中山 寛尚	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 細胞増殖・腫瘍制御部門	助教	mTOR阻害分子セマフォリンによるハーセプチニ性乳癌治療法の開発
芳賀 早苗	北海道大学大学院保健科学研究院 健康イノベーションセンター 生体分子・機能イメージング部門	博士研究員	生体細胞内分子の時空間的ダイナミズム解析のためのイメージング技術開発
原田 二朗	久留米大学医学部医化学講座	講師	簡易的に製造できる光増感色素の癌治療効果と癌細胞マーカーへの利用
平 明日香	京都大学放射線生物研究センター 晩発効果、DNA損傷シグナル部門 高田研究室	博士研究員	アルデヒド分解酵素複合欠損症の発見:遺伝性骨髓不全の新規病態の解明をめざして
平田 英周	金沢医科大学病理学I	講師	力学的ストレスを生体内で可視化する
平田 真	東京大学 医科学研究所 ヒトゲノム解析センター シークエンス技術開発分野	特任助教	新規治療戦略の策定を目指したゲノム解析に基づく新規軟部肉腫分類の構築
藤井 智明	佐々木研究所腫瘍ゲノム学系臨床研究部門	専任研究員	大腸がん転移を規程する間質細胞の因子の同定とその機能解析
藤下 晃章	愛知県がんセンター研究所分子病態学部	主任研究員	間質細胞を介した大腸がんの分子標的薬抵抗性獲得機構の解明
三木 大樹	理化学研究所統合生命医科学研究センター 消化器疾患研究チーム	副チームリーダー	新規バイオマーカーとしての肝がん特異的エクソソームおよび内包miRNAの網羅的探索
山口 英樹	国立がん研究センター研究所難治進行がん研究分野	ユニット長	スキルス胃癌腹膜播種のマルチカラーメーリング解析
吉崎 尚良	金沢医科大学医学部 小児外科学	講師	リン酸化モチーフ上がん特異的変異のプロテオームワイド解析
吉田 知史	群馬大学未来先端研究機構・生体調節研究所	准教授	Rho の GTPase 活性を標的とした抗がん剤開発の合理性を明らかにする。
吉原 弘祐	新潟大学医学部産婦人科	助教	融合遺伝子に注目した扁平上皮癌スペクトラムに対する新規治療戦略の構築
和田 妙子	自治医科大学分子病態治療研究センター 幹細胞制御研究部	助教	中枢神経白血病に対するエピジェネティック療法の開発

45件

『がん領域・臨床』

東 公一	久留米大学病院内科学講座 呼吸器神経膠原病部門	講師	ドライバー遺伝子変異依存肺癌における免疫逃避機構の解明と治療戦略
岩田 浩明	北海道大学大学院医学研究科 皮膚科学分野	特任助教	菌状息肉症における新規ウイルスの探求
岡山 洋和	福島県立医科大学医学部 器官制御外科学講座	助教	大腸癌の糖鎖プロファイルに基づく新規molecular subtypeの同定
奥川 喜永	三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科学講座	リサーチアソシエイト	胃癌腹膜播種進展におけるCircRNAを介した機序解明と新たなバイオマーカーの確立

小副川 敦	大分大学医学部呼吸器・乳腺外科学講座	助教	非小細胞肺癌におけるDNA損傷修復と免疫チェックポイント分子との関連
小野 敏嗣	東京大学医学部附属病院 消化器内科	助教	透明化技術の消化管病理評価への応用
小野山 一郎	九州大学病院 産婦人科	助教	DNA脱メチル化酵素TET3の発癌、腫瘍進展における生理学的役割の解明
黒瀬 浩史	川崎医科大学呼吸器内科学	臨床助教	制御性T細胞による抑制が関与する肺がん微小環境の同定
古屋 淳史	東京大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科	助教	急性骨髓性白血病の治療抵抗性に寄与する遺伝子変異の同定
澤田 武	金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 先進的地域医療研究講座	特任准教授	大腸鋸歯状病変から高悪性度大腸癌に至る発癌経路の同定と内視鏡治療、化学療法への応用
芝田 渉	横浜市立大学先端医科学研究センター トランスレーショナルリサーチ推進室	准教授	胃上皮3次元培養を用いた、新規胃癌バイオマーカーの探索
志村 貴也	名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器代謝内科学	講師	グローバルポビュレーションを用いた胃癌診断尿中バイオマーカーの開発
庄司 文裕	九州大学大学院消化器・総合外科(第二外科)	診療講師	慢性炎症及び線維化に着目した肺癌悪性度獲得メカニズムの解明と治療への応用
末原 義之	順天堂大学医学部 整形外科教室	准教授	「希少がん」軟部肉腫のキナーゼ阻害剤若効症例に基づいた新規治療法の開発
曾根 献文	東京大学医学部 産婦人科学教室	助教	卵巣明細胞腺癌におけるヒストンメチル化・脱メチル化酵素を標的とした新規エピゲノム創薬とバイオマーカー探索について
野尻 崇	国立循環器病研究センター研究所生化学部	ペプチド創薬研究室長	心房性ナトリウム利尿ペプチドの血管制御による革新的癌治療法の開発
野波 篤	九州大学病院 血液腫瘍内科	助教	変異Calreticulinシグナル解析による骨髄増殖性腫瘍の治療標的分子の同定
日暮 琢磨	横浜市立大学附属病院 内視鏡センター	助教	アスピリンとメトホルミンの組み合わせによる大腸腫瘍の化学予防の確立
福山 隆	北里研究所北里大学メディカルセンター研究センター	上級研究員	癌/精巢抗原KK-LC-1の検出は胃がんの超早期診断になりうるか?
堀江 香代	弘前大学大学院保健学研究科 医療生命科学領域 病態解析科学分野	助教	卵巣癌に対する腫瘍抑制型エクソソームの作成と新規治療法の開発
堀本 義哉	順天堂大学乳腺・内分泌外科学	准教授	乳癌内分泌療法によりG0期へ移行する細胞の解析
本多 通孝	福島県立医科大学災害医療支援講座	准教授	進行胃癌に対する腹腔鏡手術の腫瘍学的安全性の検証 — 多施設共同調査研究
松木 絵里	慶應義塾大学医学部 血液内科	共同研究員	悪性リンパ腫サバイバーにおける心機能異常の発生頻度とリスク因子の同定
道上 宏之	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科細胞生理学	助教	非VEGF経路に対する抗血管新生薬開発
美馬 浩介	熊本大学医学部附属病院 消化器外科	特任助教	消化器癌の癌幹細胞を標的とした新規免疫療法開発のための基礎的・臨床的研究
向原 徹	神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター	特命准教授	乳癌の腫瘍浸潤リンパ球とセンチネルリンパ節における免疫チェックポイント分子発現
安田 浩之	慶應義塾大学医学部 呼吸器内科	助教	肺癌における希少癌および難治癌を標的とした研究基盤の確立
山岡 正慶	東京慈恵会医科大学小児科学講座	助教	小児再発脳腫瘍に対する腫瘍細胞と樹状細胞の融合細胞を用いた免疫療法の開発

28件

《精神・神経・脳領域》

上田(石原) 奈津実	名古屋大学理学研究科 生命理学専攻 細胞制御学グループ	講師	新奇空間の形状弁別メカニズムの解明
安達 直樹	関西学院大学 理工学部 生命医化学科 再生医学分野(平井研究室)	助教	オブジェネティクスを用いた、BDNFの局所機能解析と精神疾患モデルにおける検証
安部 力	岐阜大学大学院医学系研究科 神経統御学講座生理学分野	准教授	延髓C1ニューロンの出力異常と過敏性腸症候群の関係解明
雨宮 史織	東京大学医学部附属病院 放射線科	助教	fMRIによる脳機能的連結基盤およびその病理の解明
新谷 奈津美	聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター	助教	HAM病態形成におけるレトロウイルス感染細胞を起点とする炎症ループ機構の解析
石田 章真	名古屋市立大学大学院 医学研究科脳神経生理学分野	助教	集中的リハビリテーションによる脳出血後の機能回復と神経系再編との因果関係の解明
石橋 賢士	東京都健康長寿医療センター神経画像研究チーム	医師研究員	mGluR1イメージングによるSCA6の発症前診断と重症度診断
伊藤 日加瑠	広島大学 大学院医歯薬保健学研究院(医) 神経生物学	助教	小頭症および大頭症の原因メカニズムの解明と治療法の探索
伊藤 泰行	新潟大学医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野	助教	脳発生過程に関与するチロシンリン酸化修飾の網羅的解析と意義解明
今居 譲	順天堂大学大学院医学研究科 パーキンソン病病態解明研究講座	先任准教授	ミトコンドリア変性によるパーキンソン病の発症機序解明と治療的試み
上野 太郎	東邦大学理学部生物分子科学科 神経科学教室	講師	睡眠覚醒に着目した自閉症スペクトラムの病態解明
上村 紀仁	京都大学大学院医学研究科 臨床神経学	特定助教	末梢から中枢へ:パーキンソン病におけるBrak仮説の実験的検証
内村 健治	名古屋大学大学院医学研究科 生物化学講座 分子生物学分野	特任准教授	ケラタン硫酸糖鎖修飾を受ける分子の同定および神経変性疾患ミクログリアでの機能解析
金澤 雅人	新潟大学脳研究所 神経内科	助教	ミクログリアと神経細胞の相互作用による新規脳梗塞治療法の開発
金蔵 孝介	東京医科大学分子病理学分野	講師	神経変性疾患におけるリピート長依存性開始コドン非依存性翻訳機構の解明
河瀬 晃	慶應義塾大学医学部 生理学教室	特任助教	1次纖毛のシグナル制御に必要な転写因子による大脳皮質の発生制御機構の解析
北西 卓磨	大阪市立大学大学院医学研究科 生理学第二教室	講師	海馬の空間表象を生成する神経回路メカニズムの解明
蕨野 信	東京大学 医学部附属病院 検査部	助教	マイナーアボ蛋白に注目したリゾリン脂質の中枢神経系疾患への医療応用
小林 篤史	北海道大学大学院獣医学研究科比較病理学教室	准教授	GPIアンカリング不全がブリオン蛋白の異常化を引き起こすか?
小原 圭吾	関西医科大学医学部生理学第一講座	講師	睡眠時における海馬新CA2領域の機能の解明

齊藤 健太	東京医科大学大学院医歯学総合研究科 神経機能形態学分野	助教	脳高次構造・機能の解明を目指した神経シナプス動態解析技術の確立
坂井 健二	金沢大学附属病院 神経内科	助教	脳アミロイドアンギオパシー関連疾患における新規バイオマーカーの探索
坂本 雅行	東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻 神経生化学教室	助教	嗅球神経回路における成体脳新生ニューロンの機能的意義の解明
下條 博美	京都大学 物質一細胞統合システム拠点 影山グループ	特定拠点助教	哺乳動物神経発生過程におけるプロニューラル遺伝子Ngn2の発現動態による神経分化制御機構の解明
新明 洋平	金沢大学医薬保健研究域 医学系 脳細胞遺伝子学研究分野	准教授	大脳皮質形成の分子制御メカニズムの解明
閑口 敦	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 成人精神保健研究部	室長	ヒトのシナプス可塑性評価によるストレス関連疾患の治療反応性予測
高橋 佳代	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター 生命機能動的イメージング部門 健康・病態科学研究チーム	研究員	社会性の分子基盤を解明するPETイメージング技術の開発
武内 敏秀	大阪大学医学系研究科神経難病認知症探索治療学寄附講座	講師	脳内移行性キャリア分子を用いた神経変性疾患分子治療法の開発
多田 真理子	東京大学医学部附属病院 精神神経科	助教	統合失調症の認知機能障害改善に向けたGABAニューロン系成熟障害の解明
恒岡 洋右	東邦大学医学部 解剖学講座 微細形態学分野	助教	養育行動によって変化する摂食代謝制御とその神経メカニズムの解明
中島 振一郎	慶應義塾大学 医学部 精神神経科	特任講師	グルタミン酸機能障害仮説に基づく1H-MRSによる治療抵抗性統合失調症の病態の解明
中島 誠	熊本大学大学院医学薬学研究部 神経内科学分野	特任教授	一過性局所神経脱落徵候から迫る新たな脳アミロイドアンギオパシーの病態と診断法
中谷 仁	滋賀医科大学分子神経科学研究センターMR医学部門	特任助教	15q11-13領域に染色体重複を持つ自閉症モデルマウスの作成と解析
中原 仁	慶應義塾大学医学部内科学教室(神経)	助教	中枢神経系髓鞘再生抗体医薬の開発
西口 康二	東北大学大学院医学系研究科 視覚先端医療学	准教授	視細胞の高機能化遺伝子治療の開発
野崎 洋明	新潟大学脳研究所神経内科学分野	助教	脳小血管病におけるHTRA1遺伝子変異の寄与
長谷川 拓	生理学研究所生体システム研究部門	研究員	大脳皮質-基底核ループにおける神経活動代替システムの確立
原口 省吾	昭和大学医学部生化学講座	助教	人工的な光環境が母体を通して胎児の脳の発達へ及ぼす影響の解明
藤田 幸	大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学	助教	中枢神経回路障害における染色体高次構造の変動
古屋敷 智之	神戸大学医学研究科薬理学分野	教授	ストレスレジリエンスを制御する前頭前皮質神経細胞の細胞内情報伝達機構の解析
堀江 正男	新潟大学大学院医歯学総合研究科 神経生物・解剖学分野	講師	Dystoninコンディショナルマウスを用いたジストニア症状の原因神経領域の解明
眞部 寛之	同志社大学研究開発推進機構(大学院脳科学研究科神経回路情報伝達機構部門勤務)	准教授	匂い入力を摂食行動に変換する脳内回路機構の解明
真仁田 聰	山梨大学大学院総合研究部医学域 生理学講座第2教室	特任助教	運動学習における小脳ブルキンエ細胞の役割の解明
三好 悟一	東京女子医科大学生理学	助教	GABAニューロン仮説に基づく自閉症スペクトラム障害モデル系の樹立
村井 清人	長崎大学医学部神経形態学教室	助教	老化脳における神経細胞保護のためのNRSF/RESTの機能解析
本村 和也	名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科	特任准教授	感情の神経基盤の解析:島回に対する浸潤脳腫瘍の及ぼす病態の解明
森 康治	大阪大学大学院医学系研究科 精神医学教室	助教	C9orf72による前頭側頭型認知症の新規細胞モデルの開発
柳下 祥	東京大学医学系研究科 疾患生命工学センター 構造生理工学部門	助教	ドーパミン罰信号がスパン形態可塑性を調節する時間枠の研究
山岸 覚	浜松医科大学器官組織解剖学講座	助教	新規軸索ガイダンス因子Netrin-5による脳梗塞再生法の開発
山崎 美和子	北海道大学大学院医学研究科 解剖発生学分野	講師	成体マウス脳で非シナプス性結合に選択的に発現するNR3A受容体の機能的意義
山下 貴之	名古屋大学 環境医学研究所 神経系分野2	助教	適応的行動の基盤となる大脳皮質神経回路メカニズムの解明
山中 智行	同志社大学大学院 脳科学研究科 認知記憶加齢部門	特任准教授	小胞体の構造変化・病態下におけるオートファゴソーム形成変化の検討
吉川 雄朗	東北大学大学院医学系研究科 機能薬理学分野	准教授	ウイルスベクターを用いたヒスタミン神経系の生理機能解析
和多 和宏	北海道大学大学院理学研究院 生物科学部門 行動神経生物学分野	准教授	発声-聴覚ミラーニューロンの機能発達とコミュニケーション障害の研究

54件

《基礎》

青戸 一司	浜松医科大学医学部医化学講座	助教	Gorlin症候群原因遺伝子Patched1による細胞死調節機構の解明
青柳 共太	杏林大学医学部生化学	講師	臍β細胞におけるミトコンドリア品質管理と糖尿病発症機序の解明
浅原 俊一郎	神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学	医学研究員	ヒトiPS細胞を用いた2型糖尿病感受性遺伝子による糖尿病発症機序の解明
天野 克比古	大阪大学歯学部付属病院 口腔外科1制御系	医員	ヘッジホッギングナルにおける非古典的GLI経路の探索
家口 勝昭	東京女子医科大学医学部薬理学教室	助教	Eph/ephrinシステムによる恒常性維持とその破綻による疾患機序の解明
池田 昌隆	九州大学医学研究院循環器内科学	学術研究員	心不全発症機転としての低酸素環境による生理的心肥大抑制についての検討
石内 崇士	九州大学生体防御医学研究所 ゲノム機能制御学部門 エピゲノム制御学分野	助教	一倍体ES細胞を用いたスクリーニングによる細胞系譜決定機構の解明
石塚 匠	宮崎大学医学部 機能制御学講座 物質科学分野	助教	ヒトテロメアRNA四重鎖構造に結合するタンパク質の探索と機能解明
乾 雅史	国立成育医療研究センター研究所システム発生・再生医学研究部	室長	細胞系譜特異的細胞死誘導による筋-腱結合形成メカニズムの解析

今井 康友	兵庫医科大学皮膚科学	講師	IL-33がアトピー性皮膚炎の原因となる機序の解明
上住 円	国立長寿医療研究センター再生再建医学研究部	室長	加齢に伴う筋再生能力低下の原因となる骨格筋幹細胞数減少メカニズムの解明
大川 龍之介	東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科 先端分析検査学分野	助教	赤血球を介したコレステロール逆輸送機構の解明
大島 基彦	千葉大学大学院医学研究院 細胞分子医学	特任助教	造血幹細胞老化に関するポリコーム群複合体群複合体機能異常の解明
太田 信哉	高知大学医学部 先端医療学推進センター	テニュアトラック特任助教	ヘテロクロマチンの形成と維持の機構を担う機能未知なセントロメア結合タンパク質
大原 浩貴	島根大学医学部病態病理学	助教	新規ノックインSHRSPラットを用いたStim1遺伝子変異に起因する高血圧発症機序の解明
岡 泰由	名古屋大学環境医学研究所 発生遺伝分野	特任助教	原発性小人症の発症メカニズムの解明
岡本 希	奈良県立医科大学医学部医学科 地域健康医学教室	准教授	認知機能障害発生に対する歯周病原細菌感染の影響に関する研究
小野 悠介	長崎大学原爆後障害医療研究所 幹細胞生物学研究分野	講師	骨格筋幹細胞の自己筋組織化メカニズムの解明と再生医療への応用
梶田 美穂子	東京医科歯科大学難治疾患研究所 先端分子医学研究部門 生体防御学分野	プロジェクト助教	IL-27に着目した自己免疫疾患の新規治療法の確立
加藤 優子	東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 生体防御検査学	助教	Epac1欠損による血管内膜肥厚抑制の分子メカニズムの解明
門脇 寿枝	宮崎大学医学部機能生化学分野	助教	小胞体の予防的品質管理におけるタンパク質分解機構の解明
金尾 梨絵	名古屋大学環境医学研究所 ゲノム動態制御分野	助教	PCNAの翻訳後修飾の多様性によるDNA損傷トレランスの制御機構の解析
金川 基	神戸大学大学院医学研究科 分子脳科学	講師	新規の糖鎖修飾体“リビトールリン酸”的異常による筋ジストロフィー病態の解明と治療法開発
金谷 高史	理化学研究所統合生命医科学研究センター	研究員	腸管sIgAレベルを規定する因子の同定とsIgAレベルが宿主の生体防御へ及ぼす影響の解析
金本 聰自	広島大学大学院医歯薬保健学研究院 分子細胞情報学	講師	小胞体ストレスによる多胞体(MVB)形成およびエクソソーム分泌亢進の生理的意義の解明
紙谷 聰英	東海大学医学部基礎医学系(分子生命科学)	准教授	肝疾患を制御する新規転写抑制因子Bcl6の機能解析
川村 晃久	立命館大学生命科学研究科 幹細胞・再生医学研究室	准教授	核内受容体による代謝とアセチル化修飾を制御することによる心臓再生療法の確立
神吉 康晴	東京大学アイソトープ総合センター RI教育研究推進部門	助教	血管新生に必要なクロマチン複合体の同定
妻 美子	東邦大学医療センター佐倉病院 臨床検査医学/医学研究部	研究員	新規褐色脂肪マウスによるトランスディファレンシエーションの機序解明
草場 哲郎	京都府立医科大学循環器腎臓内科	助教	CRISPR Cas9システムとCre LoxPシステムを融合したIn vivoでの後天的遺伝子改変法の確立
栗山 正	秋田大学大学院医学系研究科	准教授	細胞集団の接着の強弱を制御するメカノセンサー機構の解明
黒木 俊介	徳島大学疾患酵素学研究センター 応用酵素・疾患代謝研究部門	助教	生殖系列の世代サイクルを支えるヒストンH3K9脱メチル化の役割の解明
栄原 孝成	熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学	助教	腎局所環境因子に着目した腎臓病進展機序の解明
桑原 誠	愛媛大学医学部附属病院先端医療創生センター免疫細胞医療部門	病院助教	アミノ酸代謝調節を介したヘルパーT細胞分化制御機構の解明
神田 将和	埼玉医科大学ゲノム医学研究センタートランスレーショナルリサーチ部門	助教	複合ゲノム解析による希少疾患の原因遺伝子解明
小林 徳彦	国立国際医療研究センター研究所 疾患制御研究部	上級研究員	免疫-褐色脂肪の組織連間に着目した新しい肥満/糖尿病治療の開発
財賀 大行	香川大学医学部免疫学	助教	pDCにおけるIFN発現制御機構の解明
齋藤 琢	東京大学医学部 整形外科・脊椎外科	講師	腱・韌帯の再生誘導法の開発
佐伯 和子	順天堂大学医学部生化学第一講座	准教授	急性肺障害におけるロイコトリエンB4第二受容体の防御的役割
笹沼 博之	京都大学大学院医学研究科 放射線遺伝学	准教授	トポイソメラーゼII(TopII)によるゲノムDNA変異の自然発生機構の解析
澤田 雄宇	産業医科大学皮膚科	助教	Maresin 1による皮膚炎に対する抗炎症効果
島田 幹男	東京工業大学原子炉工学研究所 システム・安全工学部門	助教	DNA修復因子PNKPを標的とした細胞死の誘導とその作用機序の解明
水津 太	北海道大学遺伝子病制御研究所 癌生物分野	講師	一次纖毛タンパク群による転写制御機構の証明
鈴木 敦郎	東北大学大学院医学系研究科 酸素医学分野	准教授(独立)	低酸素誘導性の可逆的ヌクレオソーム構造変換の分子機構
閑谷 元博	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科	講師	代謝産物センサー分子を軸とした新しい代謝制御システムの解明と医療応用
高田 健介	徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター 遺伝子実験施設	准教授	正の選択を介したT細胞の機能的教育が生体防御に果たす役割
高橋 雅彦	新潟大学大学院医歯学総合研究科 ウィルス学分野	講師	ストレス顆粒とオートファジーによるTDP-43蛋白の分解機構
武智 正樹	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 分子発生学分野	テニュアトラック助教	鼓膜の発生メカニズムの解明
田村 彰吾	名古屋大学大学院医学系研究科 医療技術学専攻 病態解析学講座	助教	巨核球・血小板造血微小環境を応用した高効率血小板産生方法の開発
中司 寛子	慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室	日本学術振興会特別研究員(PD)	制御性T細胞におけるエピジェネティクス制御機構の解明
中村 勇規	山梨大学大学院 総合研究部 医学系基礎医学系 免疫学講座	講師	概日時計を標的としたアレルギー治療についての基礎研究
中谷 真子	福井大学医学部医学科 生命情報医科学講座 薬理学領域	助教	炎症性腸疾患の発症に関するCDX2を介した粘膜免疫防御機構の解明とその治療応用

西 晶子	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 発生医学研究室	助教	中心体構成因子が神経の組織発生に与える役割の解明
西 良太郎	立命館大学生命科学部生命医学科病態細胞生物学研究室	助教	核内構造体によるDSB修復の時空間的制御機構の解明
新田 剛	東京大学大学院医学系研究科 免疫学分野	准教授	免疫系におけるプロテアソーム遺伝子多型の意義
原田 瞳生	東京大学大学院医学系研究科 肺高血圧先進医療研究学講座	特任助教	新規Gタンパク質共役受容体CXCR7によるβ-arrestin偏向的活性化を介した心不全改善効果の検討
平島 剛志	京都大学再生医科学研究所 バイオメカニクス研究領域	特定助教	臓器深部の血管新生における遊走細胞動態の解明
深谷 知宏	宮崎大学医学部医学科感染症学講座免疫学分野	助教	免疫疾患におけるCD103陽性通常型樹状細胞の役割の解明
福住 好恭	新潟大学大学院医歯学総合研究科附属腎研究センター 腎分子病態分野	准教授	腎糸球体上皮細胞スリット膜の形成、維持機構の解明
古川 健太郎	新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能制御学分野	特任助教	マイトファジーレセプターAtg32の負の制御機構の解析
邊見 弘明	和歌山県立医科大学先端医学研究所 生体調節機構研究部	准教授	樹状細胞サブセットによる腸管免疫恒常性維持機構の解明
本間 拓二郎	山形大学大学院医学系研究科 生化学分子生物学講座	助教	レドックス因子ペルオキシレドキシン4の病態生理的意義の解明
松崎 京子	東京医科歯科大学医歯学総合研究科 病態代謝解析学分野	助教	ストレス顆粒形成が組織幹細胞維持に果たす役割の解明と組織老化防止治療標的としての検証
松村 欣宏	東京大学先端科学技術研究センター 代謝医学分野	助教	エピゲノムを介した脂肪細胞の分化と病的変容のメカニズム解明
水野 智亮	筑波大学医学医療系分子細胞生物学グループ	助教	小胞体ストレス応答における選択的オートファジー受容体の発現制御機構
三野 亨史	京都大学ウイルス研究所感染防御研究分野竹内理研究室	助教	自然免疫における転写後制御機構の解明
宮田 治彦	大阪大学微生物病研究所 遺伝子機能解析分野	助教	カルシニューリンによる精子受精能力調節機構の解明
森岡 裕香	北海道大学遺伝子病制御研究所 疾患モデル創成分野	助教	遺伝子改変マウスを利用した周産期障害発症メカニズムの解明と診断・治療法開発への応用
山崎 淳平	北海道大学獣医学研究科 臨床分子生物学教室	助教	DNA脱メチル化酵素TET2によるエンハンサー領域特異的制御機構の解明
山崎 正和	秋田大学大学院 医学系研究科 細胞生物学講座	准教授	組織の頑強性を司る力学的基盤とその破綻による病態の理解
横林 しほり	京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座機能微細形態学・iPS細胞研究所	特定拠点助教	ヒトiPS細胞における不活性X染色体のエピジェネティック状態と分化への影響の評価
吉田 善紀	京都大学iPS細胞研究所 未来生命科学開拓部門	准教授	マイクロRNA応答性合成RNAを用いた生理的に機能する心筋再生療法の確立
若林 卓	大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学(眼科学)	医員	組織常性型血管内皮幹細胞移植による虚血性眼疾患の治療法開発
渡部 昌	北海道大学大学院医学研究科生化学講座医化学分野	助教	新規同定法を用いたユビキチンリガーゼ基質の網羅的探索

74件

《臨床》

相澤 健一	自治医科大学医学部薬理学講座臨床薬理学部門	准教授	慢性炎症を標的とした急性大動脈解離の新規病態機序解明と治療法開発
有安 宏之	和歌山県立医科大学内科学第一講座	講師	下垂体腫瘍の発生・増殖におけるミスマッチ修復遺伝子の役割の検討
臼井 嘉彦	東京医科大学臨床医学系眼科学分野	講師	糖尿病黄斑浮腫におけるアマクリン細胞と網膜毛細血管の相互作用の解明と新規治療法の開発
梅川 孝	三重大学医学部産科婦人科教室	助教	ホスホジエステラーゼ5阻害剤を用いた妊娠高血圧症候群関連疾患に対する新規介入方法の開発
岡田 誠司	九州大学医学研究院 先端医療医学分野	准教授	黄色鞘帯肥厚の分子生物学的メカニズム解明と新規薬物治療法の開発
小田 純嗣	北野病院小児科	副部長	網羅的遺伝子解析による自己炎症性疾患の責任遺伝子同定と分子病態の解明
片岡 有	国立循環器病研究センター心臓血管内科 冠疾患科	医長	新たな急性冠症候群発症機序の解明研究: 弥縫内コレステロール結晶とHDL機能の関与について
鎌田 昌洋	東京大学医学部附属病院 皮膚科	講師	水疱性類天疱瘡における制御性B細胞及び抗原特異的B細胞の機能と役割の解明
神田 桂一郎	東京大学大学院医学系研究科小児科学	助教	先天性腎尿路奇形の新規原因遺伝子同定
北川 知郎	広島大学病院 循環器内科	助教	心外膜下脂肪組織の分子生物学的解析に基づいた新規予防戦略の構築
木村 百合香	昭和大学医学部耳鼻咽喉科学講座	准教授	突発性難聴症例中からの外リンパ瘻の鑑別診断と治療法の確立
国府島 康之	九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学 肝臓研究室	助教	末梢血単核球を用いた急性肝障害における免疫システム異常の評価
後藤 慎平	京都大学医学部附属病院 呼吸器内科	特定助教	ヒト呼吸器上皮細胞の新規表面抗原の同定と臨床への応用
小沼 貴晶	東京大学医科学研究所 附属病院 血液腫瘍内科	助教	同種造血細胞移植後 MAIT 細胞の再構築およびその役割
坂上 倫久	愛媛大学大学院医学系研究科 心臓血管・呼吸器外科学	助教	大動脈弁狭窄症発症分子機序の解明とその予防法の開発
坂田 直昭	東北大学病院 消化器外科	助教	有用な血管化脾島の作成法の確立
塩川 雅広	京都大学大学院医学研究科 消化器内科学講座	医員	IgG4関連疾患における自己抗原の同定
高橋 勇人	慶應義塾大学医学部皮膚科	専任講師	新規ヘルパーT細胞サブセットの同定と皮膚炎モデルにおける役割の検討
高畠 雅彦	北海道大学大学院医学研究科整形外科	講師	免疫グロブリン様受容体群を介した生体内骨吸収制御機構の解明
田中 将志	京都医療センター臨床研究センター内分泌代謝高血圧研究部	流動研究員	単球・マクロファージ機能を標的とした肥満・糖尿病性血管障害・認知症の新規予知指標・治療戦略の開発
千葉 満	弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域	講師	緊急時における子ども期の放射線被ばくを評価できる新たなバイオマーカーの開発

中沼 伸一	金沢大学附属病院 消化器・腫瘍・再生外科(旧第二外科)	医員	難治疾患の肝VODの新規病態解明とそれに基づく先制治療法の開発
中村 太志	熊本大学医学部附属病院 循環器内科	特任助教	PKG1 α の新規レドックス制御機構を標的とした治療法の開発
西川 太朗	京都府立医科大学消化器内科	助教	PNPLA3遺伝子多型を有するiPS細胞由来肝細胞を用いたNASH病態の解明
畠 匠侑	京都大学医学部附属病院 臨床研究総合センター 網膜神経保護プロジェクト	助教	iPS細胞を用いたクリスタリン網膜症の病態解明と治療法開発
坊内 良太郎	東京医科歯科大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・代謝内科	助教	腸内細菌叢による胰内内分泌機能の制御機構の解明
本根 杏子	自治医科大学アレルギー・リウマチ科	臨床助教	抗環状シトルリン化ペプチド(CCP)抗体の真の抗原探索による関節リウマチ病因の解明
松浦 勝久	東京女子医科大学先端生命医科学研究所・循環器内科	准教授	心臓発生・病態における心臓線維芽細胞由来新規血管新生抑制因子の発現・機能解析
水野 健太郎	名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野	講師	精子幹細胞の分化メカニズムの包括的解明と男子不妊症に対する新規治療戦略の開発
水野 慎大	慶應義塾大学医学部内科学(消化器)	助教	消化管疾患に対する新規治療としての腸内細菌叢再構成の有用性の検討
森 優	東北大学大学院医学系研究科 整形外科分野	助教	日本時ゲノム解析ツールによる股関節形成不全の疾患感受性遺伝子の検索
山田 満穂	慶應義塾大学医学部産婦人科学教室	助教	初期胚発生の新規分子メカニズムに基づいた次世代不妊治療と再生医療の開発して
吉見 竜介	横浜市立大学附属病院 リウマチ・血液・感染症内科	診療講師	リウマチ性疾患におけるTh17細胞依存性免疫応答を標的とする新規治療法の探索

33件

《感染症》

芦田 浩	千葉大学真菌医学研究センター 細菌感染免疫プロジェクト	特任准教授	病原細菌による新たな細胞死抑制機構の解明
案浦 健	国立感染症研究所寄生動物部	主任研究官	核制御を中心とした肝内型マラリア原虫の増殖・休眠の分子基盤解明
大塚 岳人	新潟大学大学院医歯学総合研究科 小児科学講座	特任助教	ヒトパレコウイルス3型重症感染症に対するアンチセンス・ペプチド新規治療薬の開発
大野 真治	九州大学大学院医学研究院 ウィルス学	准教授	Epstein-BarrウイルスによるT細胞腫瘍化メカニズムの解明
小川 寛人	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 病原ウイルス学分野	助教	ヒトヘルペスウイルス6Bの伝播機構の解明
押海 裕之	熊本大学大学院生命科学研究部免疫学分野	教授	エクソソームを介した自然免疫制御の新たなメカニズムの解明
木村 幸司	名古屋大学医学系研究科分子病原細菌学／耐性菌制御学	准教授	多剤耐性菌出現過程でのHypermutable strainの役割の解明
木村 大輔	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座免疫学分野	助教	マラリア感染後におけるIL-27依存的免疫記憶抑制機序の解明
倉島 洋介	東京大学医科学研究所 炎症免疫学分野	助教	常在菌・病原性細菌感染防御における腸管線維芽細胞群の役割
桑江 朝臣	北里大学大学院感染制御科学府分子細菌学	准教授	百日咳が產生するタンパク質BteAの貪食運動阻害メカニズムの解析
定岡 知彦	神戸大学大学院 医学研究科 附属感染センター 臨床ウイルス学	助教	新規遺伝子産物機能解析による水痘帶状疱疹ウイルス潜伏感染機構の解明
柴田 岳彦	国立感染症研究所免疫部	研究員	RSウイルス感染による二次性細菌感染の誘導機構の解明
新澤 直明	大阪大学微生物病研究所・分子細菌学分野	助教	百日咳における咳発作発症機序の解明
住友 優子	大阪大学大学院衛生学研究科 口腔細菌学教室	助教	トリセルラータイジャックションの破綻による劇症型レンサ球菌感染症の発症機構の解明
大道寺 智	京都府立医科大学大学院医学研究科・感染病態学	講師	ヒト呼吸器上皮由来細胞株を用いた鳥インフルエンザウイルスの病態解析
田口 謙	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学専攻 感染免疫学講座 感染分子解析学分野	助教	多インターフェイス・モデルによるPrPScの構造多様性の解明の試み
津々木 博康	熊本大学生命科学研究部 微生物学分野	助教	腸管出血性大腸菌毒素SubABを改良した新規抗炎症剤の開発
長嶋 茂雄	自治医科大学医学部 感染・免疫学講座 ウィルス学部門	講師	E型肝炎ウイルスの感染感受性を決定する宿主因子の同定とその相互作用の解明
永野 恵司	愛知学院大学歯学部微生物学講座	准教授	口腔トレボネーマのペル毛を介した宿主定着機構に関する研究
西村 順裕	国立感染症研究所ウイルス第二部	主任研究官	急性弛緩性麻痺をおこすエンテロウイルスの感染モデルマウスの確立
野間口 雅子	徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野	准教授	HIV-1ゲノム内SA1D2prox塩基配列によるVif発現調節機構の解析
松村 拓大	金沢大学医薬保健研究域医学系細菌学	講師	食中毒を引き起こすボツリヌス毒素の宿主生体内侵入機構の解明
見市(三田村) 文香	佐賀大学医学部分子生命科学講座免疫学分野	助教	ミトコンドリア関連オルガネラと寄生適応—コレステロール硫酸による赤痢アメバ“シスト形成制御”の全容解明—
村田 貴之	名古屋大学大学院医学系研究科 ウィルス学	准教授	EBウイルスの複製機構と増殖性疾患
山本 和子	長崎大学病院 第二内科	助教	肺炎球菌の臨床的病原性は肺胞マクロファージ免疫応答により規定されるか?
李 英愛	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫寄生虫学	特任助教	空胞形成病原体に対する獲得免疫誘導時におけるオートファジー・アダプター分子の役割の解明
渡辺 登喜子	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス感染分野	特任准教授	インフルエンザウイルスの顕性および不顕性感染メカニズムの解析

27件

医学系研究奨励継続助成

《生活習慣病》

氏名	所属機関	職位	研究題目
篠崎 昇平	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 基礎動脈硬化化学講座	准教授	メタボリックシンドローム病態形成と慢性炎症をつなぐミッシングリンクの解明
谷田 守	金沢医科大学生理工学2講座	講師	摂食抑制が血圧上昇とエネルギー消費促進を起こす仕組みの解明
徳留 健	国立循環器病研究センター研究所生化学部	室長	内因性ペプチドの生理作用を応用した生活習慣病合併症の新規治療法開発
3件			
《がん領域》			
加藤 元博	国立成育医療研究センター研究所小児血液・腫瘍研究部	医長	思春期発症の急性白血病に対する分子病態の基盤解析と新規標的分子の探索
茂木 精一郎	群馬大学大学院医学系研究科 皮膚科学	講師	悪性黒色腫における間葉系幹細胞の役割、病態的意義の解明
2件			
《精神・神経・脳領域》			
神谷 和作	順天堂大学医学部耳鼻咽喉科学講座	准教授	多能性幹細胞の内耳誘導による遺伝性難聴に対する革新的細胞治療法の開発
桑子 賢一郎	慶應義塾大学医学部生理学教室	特任講師	シナプス結合の特異性を決定する分子機構の解析
近藤 誠	大阪大学大学院医学系研究科 神経細胞生物学講座	助教	環境や経験に依存して記憶が可塑的に変化する分子メカニズムの解明
三枝 理博	金沢大学医薬保健研究域 医学系 分子神経科学・統合生理学	准教授	ニューロンタイプ特異的遺伝子操作を用いた概日中枢時計神経メカニズムの解明
4件			
《基礎》			
池ノ内 順一	九州大学理学研究院生物科学部門代謝生理学研究室	准教授(PI)	癌の上皮間葉転換において細胞膜脂質の果たす役割の解明
奥野 利明	順天堂大学医学研究科生化学第一講座	准教授	新規脂質メディエーター・12-HHTの炎症と発ガンにおける役割の解明
香月 康宏	鳥取大学染色体工学研究センター	准教授	複数遺伝子を累積搭載できる次世代遺伝子導入ヒト染色体ベクターの開発
篠崎 陽一	山梨大学大学院総合研究部 藥理学講座	講師	P2受容体シグナルを介した線内障害発症メカニズムに関する研究
田中 聰	熊本保健科学大学保健科学部 リハビリテーション学科	准教授	マウス生殖腺形成とその雄性分化の制御機構の解明
富樫 英	神戸大学大学院医学研究科 生化学・分子生物学講座 分子細胞生物学分野	助教	感覚器における秩序だった細胞パターンを制御する機構と機能的意味の解明
仁田 英里子	千葉大学大学院 医学研究院細胞分子医学	特任助教	幹細胞のアポトーシス制御による質的維持と老化制御の分子機構
吉田 清嗣	東京慈恵会医科大学生化学講座	教授	乳癌における腫瘍悪性化の分子機構解明と診断・治療への応用展開
8件			
《臨床》			
堺 裕輔	長崎大学医学部 研究高度化支援室	助教	術後急性肝不全予防のための自己ヒト肝細胞移植技術の確立
山澤 一樹	国立病院機構東京医療センター臨床遺伝センター 小児科	医員	メチル化異常に起因する先天異常症候群においてヒドロキシメチル化が果たす役割の解明
2件			
《感染症》			
加藤 哲久	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウィルス病態制御分野	助教	単純ヘルペスウィルス神経病原性発現機構の解明
児玉 年央	大阪大学微生物病研究所 細菌感染分野	准教授	腸炎ビブリオの病原性におけるT3SS2の役割解析
2件			
《薬学系研究奨励》			
氏名	所属機関	職位	研究題目
荒木 通啓	神戸大学科学技術イノベーション研究科	特命准教授	統合オミクス解析によるバイオ医薬品の生産性評価技術の開発
五十里 彰	岐阜薬科大学生命薬学大講座生化学研究室	教授	細胞間タイト結合を起点としたがん化機構の解明と新規抗がん剤の開発
石原 廉一	京都薬科大学病態薬科学系 病態生化学分野	講師	ダウン症脳の胎生発達遅滞への関連細胞群と分子メカニズムの解明
市川 聰	北海道大学大学院薬学研究院創薬科学研究教育センター・有機合成医薬学部門	教授	天然物を基盤とした抗多剤耐性菌薬の開発研究
内田 康雄	東北大学大学院薬学研究科 薬物送達学分野	助教	血液脳関門の主要な薬物トランスポーターの輸送活性予測に基づく薬物脳移行性予測法の開発
生沼 泉	京都大学大学院薬学研究科神経機能制御学	助教	低分子量Gタンパク質R-Rasによるガイダンスシグナル統合メカニズムの解明
大岡 伸通	国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部	主任研究官	プロテインノックダウン法を利用したundruggableタンパク質の分解誘導剤開発
大庭 誠	長崎大学大学院医薬学総合研究科薬化学分野	准教授	オリゴペプチドを用いた核酸デリバリーシステムの開発
川上 茂	長崎大学薬学部 医薬品情報学研究室	教授	超音波応答性負電荷ナノバブルによる遺伝子導入システムの開発と評価
菊地 晴久	東北大学大学院薬学研究科 医薬資源化学分野	准教授	多様性拡大抽出物が生み出す生物活性指向型化合物ライブラリー
倉石 貴透	金沢大学医薬保健研究城薬学系生体防御応答学研究室	准教授	新規ユビキチンリガーゼSherpaによる自然免疫シグナリング制御機構の解明

黒川 健児	長崎国際大学薬学部薬学科 細胞生物薬学研究室	准教授	黄色ブドウ球菌タンパク質の新規な糖修飾、並びに脂質修飾の体系的解明
小西 英之	静岡県立大学薬学部医薬品化学分野	助教	毒性ガス等価体による実用性指向型有機合成反応の開発および医薬品候補化合物の迅速合成
齊藤 亜紀夫	東京農工大学大学院工学研究院 応用化学部門 齊藤亜紀夫研究室	准教授	ヨウ素系触媒の遷移金属触媒と類似な反応性を活用する複素環合成法の開発
齊藤 康太	東京大学大学院薬学系研究科生理化学教室	助教	巨大分子コラーゲンの分泌機構解析
阪本 泰光	岩手医科大学薬学部 構造生物薬学講座	助教	糖非発酵グラム陰性細菌のペプチド代謝系を標的とする抗菌薬開発
櫻井 文教	大阪大学大学院薬学研究科 分子生物学分野	准教授	ウイルス製剤のドラッグ・リポジショニングによる肝線維化治療薬の開発
佐藤 卓史	熊本大学大学院生命科学研究部(薬学系) 生命分析化学分野	助教	変異体選択的な分泌抑制を標的とした遺伝性アミロイドーシスの創薬研究
清水 広介	静岡県立大学薬学部医薬生命化学分野	講師	自己免疫疾患根治に向けた標的化DDS戦略の構築と治療応用
鈴木 浩典	微生物化学研究会微生物化学研究所 分子構造解析部	博士研究員	哺乳類オートファジー始動複合体の中核因子FIP200の分子基盤の解明
鈴木 良明	名古屋市立大学大学院薬学研究科 細胞分子薬効解析学	助教	Ca2+関連チャネルリモデリングと変形性関節症病態の関係
高橋 大輔	慶應義塾大学薬学部生化学講座	助教	腸内細菌が産生する酪酸による関節リウマチ抑制メカニズムの解明
高橋 有己	京都大学大学院薬学研究科 病態情報薬学分野	助教	がん細胞由来エキソソームによる腫瘍増殖促進機構の解明
高山 健太郎	東京薬科大学薬学部 薬品化学教室	助教	ペプチド性TGF-β1特異的阻害分子の構築と分子機能
橋 敬祐	大阪大学大学院薬学研究科 附属創薬センター 創薬臨床研究推進ユニット	特任講師(常勤), 生命情報解析学分野 招聘教員	脂質異常症治療における残余リスクの軽減を目指した新規治療戦略の構築
田中 健一郎	武藏野大学薬学部生命分析化学研究室	専任講師	気管支拡張作用と抗炎症作用を併せ持つCOPD治療薬開発のための創薬研究
土谷 博之	大阪大学大学院薬学研究科 附属創薬センター 創薬基盤技術開発ユニット iPS細胞動態プロジェクト	特任助教(常勤)	肝癌を抑制する、核内受容体による新たな遺伝子発現制御システムの解明
中野 実	富山大学大学院医学薬学研究部(薬学) 生体界面化学研究室	教授	一次配列情報からのリン脂質フリッパーゼの探索と同定
行木(桑迫) 香奈子	武藏野大学薬学部・薬学研究所 物理化学研究室	講師	がん細胞におけるスプライシング因子SF3b1の変異によるmRNA認識能の変化メカニズムの解明
鳴海 哲夫	静岡大学大学院総合科学技術研究科 化学バイオ工学科 生物有機化学研究室	准教授(研究室主宰)	中分子創薬を指向したクロロアルケン型ペプチド結合等価体の創製と実践的応用
西谷 直之	岩手医科大学薬学部 微生物薬品創薬学講座	講師	多様なWnt/β-catenin経路阻害剤群による腫瘍免疫ブースト効果の解析
畠山 浩人	千葉大学大学院薬学研究院 臨床薬理学研究室	助教	システム的理解に基づく免疫チェックポイント阻害剤の作用機序解明と薬効予測
林 周作	富山大学と漢医薬学総合研究所 消化管生生理学分野	助教	腸管マクロファージのIL-10産生を標的とした炎症性腸疾患に対する治療戦略
東阪 和馬	大阪大学薬学研究科毒性学分野	助教	ナノマテリアルの雄親曝露を介した次世代影響に関する研究
藤井 正徳	京都薬科大学病態薬科学系 薬理学分野	准教授	炎症性皮膚疾患におけるPUFA結合カルプロテクチンの機能的役割の解明
渕 靖史	九州大学大学院薬学研究院 生物有機合成化学分野	助教	レドックスシグナル伝達に関与する酸化損傷グリシン捕捉プローブの創製
北條 恵子	神戸学院大学薬学部 分子薬学部門 薬品化学研究室	助教	リラキシン-3の構造に指南されたペプチド性抗うつ薬の開発研究
細井 徹	広島大学医歯薬保健学研究院 治療薬効学研究室	准教授	細胞間相互作用による新規小胞体ストレス応答機構解明と肥満治療開発戦略
松本 靖彦	東京大学大学院薬学系研究科微生物薬品化学	助教	機能性乳酸菌による食後高血糖の抑制機構の解明
三上 雅久	神戸薬科大学薬学部・生化学研究室	講師	コンドロイチン硫酸鎖を標的とした新たな骨粗鬆症治療戦略の確立
森岡 徳光	広島大学大学院・医歯薬保健学研究院 薬効解析科学	准教授	核内受容体REV-ERBをターゲットにした慢性疼痛の新たな治療戦略の開発
矢吹 梢	東北大学薬学研究科薬理学分野	助教	FABP3 欠損マウスにおける恐怖記憶消去機構障害の神経薬理学的研究
山口 賢彦	静岡県立大学薬学部 生体情報分子解析学	助教	Gpr3-Nr4aを介した脂肪組織由来間葉系幹細胞の静止期・未分化性維持機構の解明
山梨 義英	東京大学医学部附属病院 薬剤部	助教	薬物の経口吸収における消化管脂質トランスポーターの役割の解明
横山 武司	富山大学大学院医学薬学研究部(薬学) 構造生物学研究室	助教	タンパク質—タンパク質相互作用を標的とした新規選択的キナーゼ阻害剤の開発

45件

薬学系研究奨励継続助成

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
脇本 敏幸	北海道大学大学院薬学研究院 天然物化学研究室	教授	抗腫瘍活性天然物の可逆的活性制御機構の解明
中澤 敬信	大阪大学大学院薬学研究科・附属創薬センター・iPS脳神経毒性プロジェクト	特任准教授	患者由来ヒト神経細胞を用いた統合失調症の病因・病態の分子機構研究
宝田 剛志	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 組織機能修復学分野	独立准教授	創薬ターゲットとしての間葉系幹細
谷口 陽祐	九州大学大学院薬学研究院 システム創薬リサーチセンター 生物有機合成化学分野	准教授	ピンポイント酸化損傷塩基検出法を基盤とした新規遺伝子標的診断法の開発
白川 久志	京都大学薬学研究科 生体機能解析学分野	准教授	アストロサイトのCa2+動態変調に起因する脳機能障害の機序解明および疾患研究への応用

5件

特定研究助成

氏名	所 属 機 閣	職 位	研 究 題 目
澤崎 達也	愛媛大学プロテオサイエンスセンター	教授	無細胞ヒトプロテインアレイ技術を基盤としたプロテオ創薬研究推進
松井 秀樹	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	教授	ホウ素中性子捕捉療法実用化へ向けた次世代新規ホウ素ナノキャリア開発
千葉 和義	お茶の水女子大学基幹研究院	教授	転写後翻訳前の分子異常による疾患発生の分子機構研究
原 博満	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科	教授	感染症克服の新機軸としてのITAM/ITIM関連パターン認識受容体研究
供田 洋	北里大学薬学部	教授	微生物資源からの生体内アシル化を制御する機能分子の開拓及び基盤研究
尾池 雄一	熊本大学大学院生命科学部	教授	超高齢化社会における健康寿命延伸にむけた基盤研究と応用展開
吉村 昭彦	慶應義塾大学医学部	教授	腸内細菌による免疫と疾患の制御に関する研究
榎本 秀樹	神戸大学大学院医学研究科 神経分化・再生分野	教授	内臓・情動神経回路の発生・機能・病態を制御するGDNFシグナル
菅沼 雅美	埼玉大学理工学研究科 戦略的研究部門	教授	がん細胞の硬化に着目した新規転移抑制物質の探索と分子構造の解明
榎原 明	中部大学生命健康科学部 作業療法学科	准教授	精神・神経疾患の成因に関連する分子・細胞メカニズムのライブ観察に基づく解明
清水 重臣	東京医科歯科大学難治疾患研究所 病態細胞生物学分野	教授	通常型ならびにAtg5非依存的オートファジーが関わる炎症性腸疾患の基礎と臨床
小椋 利彦	東北大学加齢医学研究所 神経機能情報研究分野	教授	医学／生物学と工学の融合による新技術開発とメカノメディシンの創成
宮崎 泰司	長崎大学原爆後障害医療研究所 血液内科学研究分野	教授	全ヒトゲノム配列で明らかにする放射線被ばくの時間的経過とその結果
箱嶋 敏雄	奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科	研究科長	IMiDs研究・開発の新展開
小松 雅明	新潟大学大学院医歯学総合研究科分子遺伝学	教授	オートファジーの異常が伴う加齢性疾患の克服
川上 秀史	広島大学原爆放射線医科学研究所 分子疫学研究分野	教授	オーファン病のゲノム解析
内匠 透	理化学研究所脳科学総合研究センター	シニアチームリーダー	自閉症病態の生物学理解のための多面的融合研究

17件

ピジョンナリーリサーチ助成

氏 名	所 属 機 閣	職 位	研 究 題 目
池田 祐一	東京大学医学部附属病院 循環器内科・ユビキタス予防医学講座	特任准教授	脂質性GPCRリガンド探索研究
一戸 猛志	東京大学医科学研究所 感染症国際研究センター 感染制御系 ウィルス学分野	独立准教授	次世代インフルエンザワクチンの開発
戎家 美紀	理化学研究所生命システム研究センター 再構成生物学研究ユニット	ユニットリーダー	ヒトの時間ネズミの時間の原因解明
岡 素雅子	九州大学大学院 医学研究院 基礎放射線医学分野	共同研究員	がん幹細胞の特性におけるDNA酸化修復酵素の役割
岡村 大治	近畿大学農学部バイオサイエンス学科 動物分子遺伝学研究室	講師	細胞系譜の二元性という幹細胞のシーソーモデル
小川 正晃	京都大学医学研究科医学専攻高次脳科学講座神経生物学	助教	不確実な報酬に惹きつけられる神経機構
掛川 渉	慶應義塾大学医学部生理学教室	専任講師	記憶を担う新しいGPCR活性化機構
川原 敦雄	山梨大学大学院 総合研究部 医学教育センター 発生生物学	教授	ゲノム編集技術を基盤とした新規機能遺伝子の探索
久保田 義顕	慶應義塾大学医学部坂口光洋記念機能形態学講座	教授	血管ネットワーク多様性の獲得原理
五ノ井 透	千葉大学真菌医学研究センター 微生物資源分野	教授	病原放線菌の遺伝子変異に基づく新規薬剤耐性結核治療薬の創出
柴田 淳史	群馬大学先端科学研究指導者育成ユニット	テニュアトラック助教	DNA修復経路操作を可能とする創薬開発に向けた分子標的の探索
洲崎 悅生	東京大学大学院医学系研究科機能生物学専攻システムズ薬理学教室	助教	神経回路のグローバルダイナミクス同定手法の開発
鈴木 治彦	名古屋大学大学院医学系研究科 微生物・免疫学講座 分子細胞免疫学	准教授	Fas/FasLによる免疫記憶の制御
瀬海 美穂	京都大学医学研究科免疫細胞生物学	助教	胸腺退縮のメカニズム解明とその制御
高野 裕治	同志社大学研究開発推進機構赤ちゃん学研究センター	特任准教授	ミラーニューロン研究の齧歯類への展開
高場 啓之	東京大学医学系研究科 免疫学	特任助教	中枢免疫寛容における分子基盤の解明
高橋 秀尚	北海道大学 大学院医学研究科 生化学講座 医化学分野	専任講師	Med26を標的とした抗腫瘍薬の開発
竹本 さやか	名古屋大学環境医学研究所 ストレス受容・応答研究部門 神経系分野I	教授	特定神経回路における分子生物学研究が明す柔軟な脳機能の成立と破綻のしくみ
田中 和正	理化学研究所脳科学研究センター 神経回路・行動生理学研究チーム	研究員	記憶学習における時間薬理学の開拓
仲嶋 一範	慶應義塾大学医学部解剖学教室	教授	神経細胞の生存を守る内在性機構の解明
中村 哲也	東京医科歯科大学消化管先端治療学講座	寄附講座教授	ハイブリッド腸作成による難治小腸疾患治療開発
根岸 英雄	東京大学生産技術研究所 炎症・免疫制御学社会連携研究部門	特任助教	ピロール・イミダゾールポリアミド(PIPA)を用いた細菌制御法の開発
早河 翼	東京大学消化器内科	助教	大量放射線被曝後の救命法の確立

林 悠	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構・林研究室	准教授	レム睡眠に着目した新規な神経疾患治療法の開発
林 洋平	筑波大学医学医療系遺伝子制御学研究室	助教	「染色体編集」法の開発
藤井 哉	東京大学大学院医学系研究科 脳神経医学専攻 神経生化学教室	助教	脳内生化学シグナルの計測と操作
渡邊 和秀	理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター	上級研究員	“Epithelial priming”による新しい細胞機能転換法の確立

27件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ホップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
家田 真樹	慶應義塾大学医学部 循環器内科	専任講師	直接リプログラミングによる心臓再生
岡田 随象	大阪大学大学院医学系研究科 遺伝統計学	教授	疾患感受性遺伝子を用いたゲノム創薬手法の開発
栗原 俊英	慶應義塾大学医学部眼科学教室	特任講師	光遺伝学を利用した視覚再生
小林 拓也	京都大学大学院医学研究科 分子細胞情報学	准教授	GPCRのオリゴマー化を標的にした新しい創薬展開を目指して
鈴 伸也	熊本大学エイズ学研究センター・国際先端医学研究拠点施設 鈴プロジェクト研究室	教授	新たに同定したHIV-1宿主細胞から迫るエイズ病態
中川 英刀	理化学研究所統合生命医科学研究センター ゲノムシークエンス解析研究チーム	チームリーダー	血漿cell-free DNAのシークエンス解析による癌個別化医療
沼野 利佳	豊橋技術科学大学環境生命工学系	准教授	次世代エレクトロポレーション法を用いた再生医療のボトルネックの克服
藤田 秋一	鹿児島大学共同獣医学部 基礎獣医学講座 分子病態学分野	教授	脂質の微細分布を解析するための基盤技術の開発
松井 秀彰	宮崎大学医学部医学科 機能制御学講座 統合生理学	助教	超短命アフリカメダカは神経疾患モデルとなり得るか?
丸山 達生	神戸大学大学院工学研究科 応用化学専攻化学工学講座	准教授	細胞内分子の自己組織化による抗ガン機能の発現
水谷 健一	同志社大学大学院脳科学研究科 神経分化再生部門	准教授(部門長)	真の神経幹細胞を制御する血管由来の微小環境の解明

11件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ステップ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
中尾 光善	熊本大学発生医学研究所 細胞医学分野	教授	ミトコンドリア機能向上によるアンチエイジング効果の開発
西 英一郎	京都大学医学部附属病院 循環器内科	特定准教授	体温と生命－体温調節機構の解明と疾患治療への応用－
高島 成二	大阪大学医学系研究科、医化学教室	教授	ATP合成酵素の直接活性化による心不全治療
田中 知明	千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学	准教授	老化と癌を制御する転写因子スイッチの解明
尾野 亘	京都大学大学院医学研究科循環器内科	准教授	microRNA-33a/bの制御法の開発とその進化上の意義の解明
藤田 敏次	大阪大学微生物病研究所 感染症学免疫学融合プログラム推進室	助教	iChIP法を利用した癌のエピジェネティック異常の分子機構の解明ならびに癌治療に向けた応用

6件

ビジョナリーリサーチ継続助成(ジャンプ)

氏名	所属機関	職位	研究題目
山下 俊英	大阪大学大学院医学系研究科 分子神経科学	教授	軸索変性を抑制する分子標的治療法の開発

1件

高等学校理科教育振興奨励

氏名	所属機関	職位	研究題目
青木 亮一	渋谷教育学園幕張高等学校	教諭	ロボットの自作とコンテスト参加による理学・工学の実践
青島 晃	静岡県立磐田南高等学校	教諭	静岡県太田川河口で発見された歴史地震による津波堆積物の年代と遡上範囲の推定及びその教材化
荒井 賢一	栄東高等学校	理科教諭	理科研究部員による地球科学(地球内部・大気)に関する現象の研究
有薗 愛	鹿児島県立鶴丸高等学校	実習助手	アカムシを使った、メチルグリーン・ピロニン染色法による染色条件とヒートショックの影響について
飯田 仁	茨城県立竹園高等学校	教諭	二重免疫拡散法(オクタロニー法)の教育効果を高める方法
伊澤 裕樹	宮城県登米総合産業高等学校	教諭	植物はいつ伸びるのか? 概日リズムと植物の伸長に関する研究
伊藤 崇由	北海道立教育研究所附属理科教育センター	研究研修主事	電子顕微鏡を用いた粒子概念の定着を促す学習教材の開発
井上 満	愛知県岡崎工業高等学校	教諭	教育施設の水試料中に含まれる揮発性有機化合物に関する研究
岩藤 英司	東京学芸大学附属高等学校	教諭	高校化学における新しい視点に立ったコロイド分野の生徒実験の改善に関する研究
遠藤 金吾	秋田県立秋田高等学校	教諭	香料の抗変異原性に関する研究
小川 香	東京都立農芸高等学校	教諭	カントウタンボボの保護と花育活動

尾崎 幸仁	大阪府立園芸高等学校	教諭	ミツバチを用いた環境リサーチ法の開発～ミツバチ利用植物の分布マップおよび花歴(開花フェノロジー)の作成し、採蜜量との関係から周辺環境の健全度を分析する～
加藤 優太	千代田区立九段中等教育学校	主任教諭	実験で学ぶ高分子化合物～学習プログラムと実験教材の開発～
雁沢 夏子	学校法人遺愛学院 遺愛女子高等学校	教諭	地域の空と海をテーマとした生徒の地学的探求活動、アウトリーチ活動とその教材化
北田 薫	熊本マリスト学園高等学校	常勤講師	熊本市江津湖周辺の生物多様性と保全～サイエンス部の活動を通して～
木浪 信之	神奈川県立鎌倉高等学校	教諭	鎌倉たら製鉄の再現と古代生成鉄の地域差に関する研究
木村 進	大阪府立泉北高等学校	教諭	泉北高校ビオトープ池における生物と環境の10年間の変遷データの解析と教材化
木村 亨	青森県立名久井農業高等学校	教諭	植物の特性を引き出す新しい栽培法の研究
後飯塚 由香里	都立駒場高等学校	主任教諭	色素を使った高校化学の教材
小林 和博	新潟県立新津高等学校	教諭	新潟県に分布するテンナンショウ属(Arisaema)植物の形態学的・生態学的研究
小溝 克己	鹿児島県立国分高等学校	教諭	幸屋火砕流が大隅諸島の生物に与えた影響とその後の昆虫相の形成過程に関する研究～屋久島方言ツクツクボウシを題材にした生物学的アプローチ～
佐藤 慶一	山梨県立甲府南高等学校	教諭	アブラナ科植物の種同定および個体維持に関する研究
佐藤 美希	岩手県立久慈東高等学校	教諭	コハクを用いた教材の開発
高田 将寛	北海道札幌丘珠高等学校	教諭	3Dデータを用いた有孔虫モデルの作成、有孔虫モデル顕微鏡の相互観察による古環境の推定実験の実践
高橋 和成	岡山理科大学附属高等学校	教諭	科学部における岡山県固有のアツヤクシソウ(絶滅危惧種)の分布調査と類縁関係の探求
千葉 美智雄	宮城県仙台第三高等学校	教諭	ヨモギに虫えいを形成するヨモギタマバエの教材化
土永 知子	和歌山県立田辺高等学校	教諭	大台ヶ原のブナ林の30年間の変化
富ヶ原 健介	鹿児島県立薩南工業高等学校	教諭	エネルギー教育を背景とした工作体験教材の開発
富永 英二	福岡県立福岡工業高等学校	講師	電気の流れを表す計測器とその表現を活かす装置類の開発
長野 裕紀	静岡県立浜松大平台高等学校	教諭	クロロフィル定量からみた佐鳴湖の植物プランクトン
西川 洋史	茂原北陵高等学校	教諭	魚類から排出されるタンパク質代謝産物アンモニアの測定方法の確立及び授業実践
畠山 啓吾	長野県野沢北高等学校	教諭	古典的光速度測定法の追試実験を生徒実験として指導しその過程を物理授業教材化する
前田 学	石川県立金沢泉丘高等学校	教諭	iPadで熱を可視化する！
松田 義徳	秋田県立横手清陵学院高等学校	教諭	地域の植生とバイオームを素材にした教材づくり
三上 忠仁	埼玉県立熊谷西高等学校	教諭	埼玉県熊谷市西部4小学校および熊谷西高校に成育する植物の図鑑作成
宮崎 一	熊本県立熊本西高等学校	教諭	芳野層堆積時の環境変動を探る
棟田 陽	広島県立広島国泰寺高等学校	教諭	水面下から発射された水噴流による水面の汚染物質回収の研究
望月 基希	静岡県立富岳館高等学校	教諭	イノベーティブな科学教育を目指した「総合学科高校の挑戦」
茂木 孝浩	群馬県立前橋女子高等学校	教諭	MgF2光学薄膜教材と教育プログラムの開発
谷戸 崇	宝仙学園 共学部	非常勤講師	クマムシの生活
山本 芳敬	愛知県立旭丘高等学校	教諭	ワニセグテレビチューナーを用いた電波による天体観測－SDR技術を用いた安価な電波観測システムの構築－
横井 大作	愛知県立熱田高等学校	教諭	堀川における現生底生有孔虫群集の分布
若山 勇太	愛媛県立宇和島東高等学校	教諭	宇和島市におけるWNV潜在的媒介蚊と渡り鳥の共存リスク評価

43件

中学校理科教育振興奨励

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
相田 裕介	ミュージアムパーク茨城県自然博物館	主任学芸主事	地層の剥ぎ取り標本を用いた教材の開発と学習支援の実践
出雲 紀行	横手市立横手南中学校	教諭	科学部員による地域貢献活動～科学イベントを運営、実施することを通して～
岩崎 利勝	高岡市立志貴野中学校	教諭	理科の学習が普段の生活や将来に役立つと生徒が考えることのできる気象単元学習指導の工夫
宇野 秀夫	福井市進明中学校	教諭	中学校理科におけるアシストスーツの教材化
太田 直晃	追手門学院大手前中・高等学校	教諭	中学校エネルギー分野におけるロボット教育活動の実践
小野 耕一	宮城県仙台市立中山中学校	教諭	物質学習支援シートを活用した系統的なエネルギー教育の研究
柏熊 泰之	香取市立佐原中学校	教諭	細胞分裂の観察方法の改善と実践
河添 友典	百合学院中学校高等学校	教諭	中学校理科「消化と分解」分野から高等学校生物「タンパク質の構造」分野へ連結できるビジュアル化ラーニング実験の構築
久保木 淳士	福山市城北中学校	教諭	理科授業における探究學習の創造・実践と育てたい資質能力を設定した単元づくりの開発・実践
黒田 沙織	聖ウルスラ学院英智小・中学校	専任教諭	バタフライ計画－生きた蝶の観察－

桑原 俊行	札幌市立青葉中学校	教諭	中学校における体細胞分裂の観察の工夫
佐野 美穂	南あわじ市立三原中学校	教諭	”ホタルの里”を守る
重藤 英一	福岡県福智町立金田中学校	講師	マグマの石炭層への影響を核とする環境教材つくり～北部九州の直方層群の石炭層の調査と模擬マグマ生成実験～
下山田 隆	佐賀市立成章中学校	教諭	飼育・生産・調査活動を含むESD学習プログラムの開発
鈴木 敏之	宇検村立田検中学校	教頭	世界自然遺産を目指す奄美大島からの発信～身近なネコの調査をおして
田崎 彰	藤崎町立明徳中学校	教諭	雪国で一年中植物が観察できるしくみ作りとその実践
谷本 薫彦	岡山県真庭市立落合中学校	教諭	理科の『落書き』を使って、描きながら考える力の育成
坪内 弘通	各務原市立那加中学校	教諭	追求思考を育む理化學習
戸澤 康之	弘前市立第三中学校	教諭	新しいエネルギーと私たちの生活を「体験」を通じて考えよう
中川 純太	石川県かほく市立高松中学校	教諭	1年地球分野における教材開発
中西 亮平	滋賀県守山市立守山北中学校	教諭	カード型顕微鏡を用いた観察・実験の授業プログラムの開発と評価
長谷川 幸一	鹿児島県三島村立片泊中学校	教諭	理科遊びによる体験の蓄積・段階的問題解決型学習によって力をつけたうえでのアクティブラーニング教授法の開発～鬼界カルデラジオパーク内にある黒島の自然の教材化～
初田 彩加	滋賀県草津市立玉川中学校	教諭	プランクトンとその生息場所の水質との関係性を探る
福山 昇宏	こどもサポートセンター南野川	教諭	こどもサポートセンターにおける理科教育～理科教材の充実とその活用～
船橋 秀男	市川学園 市川中学校・市川高等学校	教諭	PM2.5に関する安価な捕集装置の開発と教材化
槙野 邦彦	倉敷市立水島中学校	教諭	言語活動を伴う観察・実験による、生徒の自発的な学びを支援する授業プランの開発と展開
松田 健一	宮崎市立佐土原中学校	教諭	校庭のスペースを活用し多様な生物を継続的に育て観察させ、自然界のつながりを理解させる理科教材の開発
三浦 真一	愛知県西尾市立平坂中学校	教諭	理科を学ぶ有用性を実感できる授業をめざして～電流とその利用「生活の中の科学技術の仕組みを探究しよう」～
美島 奈央	沖縄県名護市立小中一貫校屋我地ひるぎ学園	教諭	小中一貫教育校としての理科教育及び地域資源を生かした総合的な学習の時間「美ら島タイム」の9年間の系統的・継続的な学びにおける連携
室内 文彦	光市立大和中学校	教諭	生徒の素朴概念を科学的概念へ変容させる学習プログラムの開発～iPadと「ロイロノート」を活用した浮力概念の形成を通じて～
弓北 清孝	千葉市末広公民館	館長	非火薬線香花火の教材化と普及 II

31件

杏雨書屋研究奨励

氏 名	所 属 機 関	職 位	研 究 題 目
片瀬 美穂子	和歌山大学教育学部 保健体育領域	准教授	近世中期養生思想における導引術 一貝原益軒『頤生輯要』を中心にして～
近藤 壮	和歌山市立博物館学芸	学芸員	「中山花木図」と江戸時代における琉球植物図の研究
鈴木 達彦	帝京平成大学薬学部薬学科	講師	曲直瀬流医学の薬物理論の形成と察証弁治に関する研究
平野 恵	東京都台東区教育委員会 台東区立中央図書館郷土・資料調査室	専門員	近世採薬記の研究—その歴史的意義を探る—
山口 亮介	北九州市立大学法学部 法律学科	准教授	近世蘭書における西欧法制語彙の翻訳に関する研究
吉川 澄美	無所属	なし	早川佐七(香邨)と椿芽書屋について

6件

合 計

543件

別表(2)

2016年度来日外国人留学研究者(国別人数)

<2017年3月31日現在(来日ベース)>

国別	2016年度 計画 (人数)	実績(人数)				備考
		本年度	前年度 繰越	次年度 繰上	計	
台湾	6	2			2	4名承認。2名来日。
タイ	8	7			7	8名承認。7名来日。
フィリピン	8	8			8	8名承認。8名来日。
韓国	5	1			1	2名承認。1名来日。
中国	10	9	1		10	9名承認。10名来日。
インドネシア	8	9	1	1	11	9名承認。11名来日。
ベトナム	6	1	1		2	4名承認。2名来日。
7カ国小計	51	37	3	1	41	
上記7カ国以外	10	10		1	11	10名承認。8名来日、3名は申請時不在。
総計	61	47	3	2	52	

2016年度外国人留学研究者明細

2016/4/1-2017/3/31来日者

氏名	所属	研究機関
台湾		
Jui-Sheng Chen	E-Da Hospital	東京大学 脳神経外科
Kelly (Ke Li) Huang	National Cheng Kung University	京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻薬剤疫学分野
小計	2名	
タイ		
Nuanpun Tanmoun	Damnoen Saduak Hospital	埼玉医科大学 産婦人科
Treepob Sae-ngow	Huahin Hospital	札幌禎心会病院
Ployploen Phikulsod	Siriraj Hospital	熊本大学エイズ学研究センター 岡田研究室
Tortrakoon Thongkan	Songklanagarind Hospital	東京女子医科大学 消化器外科
Suphawat Laohawiriyyakamol	Prince of Songkhla University	国立がん研究センター中央病院
Artit Boonyalapa	Saraburi Hospital	奈良県立医科大学 整形外科学教室
Chaturong Pornrattanamaneeuwong	Siriraj Hospital	大阪大学 運動器バイオマテリアル学講座
小計	7名	
フィリピン		
John Baguio Espina	Veterans Memorial Medical Cneter	ひろしば耳鼻咽喉科
Ignacio Abao Catelo	Victor R. Potenciano Memorial Medical Center	三重大学医学部附属病院 肝胆脾・移植外科
Teresita Ellarda Dumagay	Philippine General Hospital	慶應義塾大学医学部 血液内科
Janice Dadiis Mangahas	Mangahas EENT Clinic	ひろしば耳鼻咽喉科
Marvin Karlo T. Lugue	Philippine General Hospital	新潟大学大学院医歯学総合研究科 機能再建医学講座整形外科学分野
Ty Alekzander Fenix Talamera	St. Paul University Iloilo	徳島大学病院 神経内科
Kenneth Ng	Philippine General Hospital	順天堂大学大学医学部附属 順天堂医院リハビリテーション科
Richard Junio Terrado	Lung Center of the Philippines	虎の門病院 呼吸器センター外科
小計	8名	
韓国		
In Young Hyun	Inha University	大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座
小計	1名	
中国		
廖生俊 (Liao Shengjun) 2015年度	武汉大学中南医院 Zhongnan Hospital of Wuhan University	金沢医科大学総合医学研究所 分子腫瘍研究分野
付建紅 (Fu Jianhong)	蘇州大学附属第一医院 The First Affiliated Hospital of Suzhou University	東京女子医科大学 救命救急センター
金金 (Jin Jin)	北京医院 Beijing Hospital	順天堂大学医学部 呼吸器内科学講座
劉振華 (Liu Zhenhua)	大連医科大学附属二院 The 2nd Affiliated Hospital of Dalian Medical University	国立がん研究センター中央病院
張杰秀 (Zhang Jiexiu)	南京医科大学第一附属医院 The First Affiliated Hospital with Nanjing Medical University	京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学教室
吳紅波 (Hong-bo Wu)	浙江大学医学院附属第二医院 Second Affiliated hospital, Zhejiang University	昭和大学藤が丘病院 救急医学科
薛超荣 (Xue Chaorong)	福建医科大学附属协和医院 Fujian Medical University Union Hospital	国立がん研究センター東病院 胃外科
張韵 (Zhang Yun)	山東大学齐鲁医院 Qilu Hospital, Shandong University	東京大学医科学研究所 感染遺伝学分野
郑宏群 (Zheng Hongqun)	哈尔滨医科大学第四临床医学院 The Fourth Clinical College of Harbin Medical University	がん研究会有明病院 胃外科
黃玲沂 (Huang Lingyi)	福建省立医院 Fujian Provincial Hospital	東京女子医科大学病院 母子総合医療センター
小計	10名	

氏名	所属	研究機関
インドネシア		
Troydimas Panjaitan	University of Indonesia	船橋整形外科病院 肩関節・肘関節センター
Sri Suryo Adiyanti	University of Indonesia	旭川医科大学 臨床検査医学講座
Rizal	Airlangga University	国立がん研究センター中央病院 頭頸部腫瘍科
Azami Denas Azinar	Airlangga University	亀田総合病院 ウロギネ科
Agustina Wulandari 2015年度	Sebelas Maret University	東京都立小児総合医療センター 腎臓内科
Faisal	Padjajaran University	日本大学医学部 小児科学系小児科学分野
Mohamad Fahmi Ibrahim	University of Indonesia	名古屋医療センター 臨床研究センター臨床研究事業部
Amanda Tiksnnadi	University of Indonesia	福島県立医科大学医学部 神経内科学講座
Rahmaningsih Mara Sabirin	Gadjah Mada University	東京工業大学大学院生命理工学研究科 生体システム専攻情報・形態形成学講座
Nur Arfian	Gadjah Mada University	神戸薬科大学 臨床薬学講座
Alfa Putri Meutia 2017年度	Cipto Mangunkusumo Hospital	亀田総合病院 ウロギネ科
小計	11名	

ベトナム

Duong Nguyen Duc 2015年度	Vinh Medical University	佐久大学
Quang Duy Pham	Cho Ray Hospital	国際医療福祉大学三田病院 病理部（病理診断センター）
小計	2名	

その他

Ahmed Hamed Eldesoky エジプト	熊本大学	熊本大学大学院生命科学研究部 天然薬物学分野
Maruf Mohammad Akbor バングラデシュ	富山大学	富山大学 大学院理工学研究部（工学）
Paras Jawaaid パキスタン	富山大学	富山大学大学院医学薬学研究部 （医学）放射線基礎医学講座
Najmus Sakeb バングラデシュ	Islami Bank Central Hospital	慶應義塾大学医学部 整形外科学教室脊椎・脊髄グループ
Mark William Sherwood イギリス	INSERM U1215	理化学研究所 脳科学総合研究センター
Dileep Kalarickal Vijayan インド	Indian Institute of Science Education and Research-Trivandrum	理化学研究所 ライフサイエンス技術基盤研究センター
Alok Kumar インド	京都大学	京都大学大学院医学研究科 免疫ゲノム医学
Sunil Kumar Vimal インド	Indian Institute of Technology Kanpur (IITK)	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構
Muralikrishnan Veleri Padmanabhan インド	Government Medical College	東京女子医科大学 脳神経外科
Arun Kanagaraj インド	University of Madras	金沢大学医薬保健学総合研究域医学系 分子遺伝学
Reda Fouad Ahmed Abdelhameed 2017年度 エジプト	長崎大学	長崎大学大学院医薬薬学総合研究科 附属薬用植物園
小計	11名	
合計	52名	

国別外国人留学研究者数累計

2017/3/31現在
(来日ベース)

国別	期間	25ヵ月 &以上	24ヵ月 &以下	12ヵ月 &以下	6ヵ月 &以下	3ヵ月	3ヵ月 未満	合計	制度発足年
台湾		22	52	109	54	308	1	546	1964
タイ			6	10	112	64		192	1966
フィリピン			5	9	93	26		133	1971
韓国			1	104	18			123	1972
中国			29	113	95			237	1981
インドネシア			8	16	52	66	2	144	1982
ベトナム				3	14	40	1	58	1998
アメリカ			3			1		4	
アルバニア					1			1	
イギリス			1	1				2	
イタリー			1	2	1			4	
イラン				1				1	
インド		2	11	9	1			23	
エジプト				6	3	1		10	
オーストラリア				2				2	
カナダ				2	1			3	
コンゴ				1				1	
シリア				1				1	
スイス				1				1	
スエーデン				2				2	
セネガル					1			1	
チュニジア					1			1	
ドイツ		4	4	3				11	
トルコ				1	3			4	
ニュージーランド					1			1	
ネパール				1	1			2	
パキスタン				2				2	
パラグアイ				1	2			3	
バングラデシュ				5	8	3		16	
ブラジル				1				1	
フランス		2	3	3	1			9	
ベネズエラ				1				1	
ペラルーシ				1				1	
ペルー		1	1	2				4	
ベルギー					1			1	
マレーシア				1		1		2	
ミャンマー		1		3	3			7	
メキシコ		1						1	
モロッコ				1				1	
モンゴル					1			1	
ロシア		1	1				1	3	
合計		22	118	419	482	515	5	1,561	

医学部博士課程奨学助成者

2016年度 新規奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
岸野 文昭	東京大学大学院医学系研究科 統合生理学教室
佐野 俊春	東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野
向平 妃沙	京都大学ウイルス研究所 生体防御研究分野
吉永 正憲	京都大学ウイルス研究所 感染防御研究分野
栗生 智香	大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学教室
今 鉄男	大阪大学蛋白質研究所 蛋白質高次機能学研究部門
岡本 喬明	名古屋大学大学院医学系研究科 神経遺伝情報学
佐藤 俊之	名古屋大学大学院医学系研究科 分子病理学講座
杉原 圭	九州大学大学院医学研究院 系統解剖学分野
藤沼 駿	九州大学生体防御医学研究所 細胞機能制御学部門分子医科学分野
庄司裕美子	東北大学大学院医学系研究科 高次機能障害学分野
大浦 峻介	北海道大学大学院医学研究科 先端医学講座神経生物学分野
半田 悠	北海道大学大学院医学研究科 分子生物学分野

13名

2014年度継続奨学助成者の中で、研究優秀による追加奨学助成者

氏名	博士課程進学後の所属講座・教室
比嘉 綱己	九州大学生体防御医学研究所 細胞機能制御学部門分子医科学分野
高島 謙	北海道大学大学院医学研究科 免疫学分野

2名

第19回 武田科学振興財団生命科学シンポジウム ポスター褒賞 受賞者

氏名	所属	ポスタータイトル
木村 友則	大阪大学	Innate immune regulation through TRIM-regulated precision autophagy and secretion
倉島 洋介	東京大学	Tissue-Specific Mast Cell-Fibroblast Network for Tissue Homeostasis
七田 崇	慶應義塾大学	Mafb prevents excess inflammation after ischemic stroke by accelerating clearance of danger signals through MSR1
中津海 洋一	九州大学	The mTORC1-FOXK1 Axis Directly Links Nutrient Signaling to Chronic Inflammation
日高 高徳	東北大学	Epidermal AhR activation predisposes mouse to percutaneous sensitization via Artemin induction
森本 純子	徳島大学	Expression of Ly6 family protein defines a novel Aire-dependent subset of medullary thymic epithelial cells with tolerogenic function
吉永 正憲	京都大学	The ribonuclease Regnase-1 plays an essential role in iron metabolism

7名

II. 処務の概要

2017年3月31日現在

1. 理事、監事に関する事項		理事 定数：5人～10人 現在：常勤 非常勤 計 2人 8人 10人 任期：2年				監事 定数：2人 現在：非常勤 計 2人 2人 任期：4年		
	氏名	就任		再任		基本給 (月額)	職名	
		就任年月日	登記年月日	再任年月日	登記年月日			
理事 (理事長) 常勤	横山 巍	2005. 9.30	2005. 10.12	2015. 6.12	2015. 6.24	807,000		
理事 (常務理事) 常勤	前野 哲也	2013. 6.14	2013. 6.24	2015. 6.12	2015. 6.24	757,000		
理事 非常勤	伊藤 貞嘉	2015. 6.12	2015. 6.24	—	—	なし	東北大学 理事（研究担当）	
理事 非常勤	北澤 清	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	(一社)未承認薬等開発支援センター 理事 元武田薬品工業株式会社 常務取締役	
理事 非常勤	北村 惣一郎	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	国立循環器病研究センター 名誉総長	
理事 非常勤	桑野 信彦	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	九州大学 名誉教授 聖マリア健康科学研究所 センター長	
理事 非常勤	郷 通子	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	名古屋大学 理事（大学運営担当）	
理事 非常勤	近藤 孝男	2015. 6.12	2015. 6.24	—	—	なし	名古屋大学大学院理学研究科 特任教授	
理事 非常勤	濵谷 正史	2009. 9.30	2009. 10.15	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	上武大学 学長 東京大学 名誉教授 東京医科歯科大学 客員教授	
理事 非常勤	武田 直久	2016. 6.10	2016. 6.21	—	—	なし	(公財)発酵研究所 評議員 元武田薬品工業株式会社 常勤監査役	
監事 非常勤	中山 俊治	2009. 10.1	2010. 12.1	2013. 6.14	2013. 6.24	なし	弁護士	
監事 非常勤	夏住 要一郎	2011. 6.17	2011. 6.30	2015. 6.12	2015. 6.24	なし	弁護士	

2017年3月31日現在

2. 評議員に関する事項		評議員 定数：10人～15人 現在：非常勤 計 11人 11人 任期：4年		
	氏名	就任年月日	再任年月日	職名
評議員	井上 圭三	2010.12.1	2014.6.13	帝京大学 副学長 東京大学 名誉教授
評議員	春日 雅人	2010.12.1	2014.6.13	国立国際医療研究センター 総長・理事長
評議員	河盛 隆造	2014.6.13	—	順天堂大学 特任教授
評議員	齋藤 英彦	2010.12.1	2014.6.13	国立病院機構名古屋医療センター 名誉院長
評議員	笛川 千尋	2010.12.1	2014.6.13	日本生物科学研究所 常務理事 東京大学 名誉教授 千葉大学真菌医学研究センター長
評議員	武田 光子	2014.6.13	—	(公財) 発酵研究所 理事
評議員	永井 美之	2010.12.1	2014.6.13	理化学研究所 名誉研究員 名古屋大学・東京大学 名誉教授
評議員	名和田 新	2014.6.13	—	医療法人誠和会牟田病院 名誉院長 九州大学 名誉教授
評議員	長谷川 閑史	2010.12.1	2014.6.13	武田薬品工業株式会社 取締役会長
評議員	本庶 佑	2010.12.1	2014.6.13	京都大学大学院医学研究科 客員教授 静岡県公立大学法人 理事長 (公財) 先端医療振興財団 理事長
評議員	眞弓 忠範	2010.12.1	2014.6.13	神戸学院大学 名誉教授 大阪大学 名誉教授

3. 職員に関する事項

	人 数	基本給合計月額（単位：円）	備 考
事務職員	9	4,385,000	全員が専任者である。

4. 会議に関する事項

〈理事会〉

第25回定期理事会 2016年5月20日	議案 ・2015年度事業報告および財務諸表等承認の件 ・選考委員選任の件 ・定時評議員会開催の件 ・報告事項 業務の執行状況の報告の件
第26回臨時理事会 2016年6月15日	議案 ・武田薬品の株主総会の議案について
第27回臨時理事会 2016年11月14日	議案 ・2017年度事業計画の件
第28回定期理事会 2017年3月3日	議案 ・2017年度事業計画および2017年度予算の件 ・選考委員選任の件 ・図書資料購入財源変更の件 ・規程類等改定の件（個人情報保護規程・寄附者指定特定基金規定） ・臨時評議員会開催の件 ・報告事項 業務の執行状況の報告の件

〈評議員会〉

第14回定期評議員会 2016年6月10日	議案 ・理事1名 選任の件 ・2015年度事業報告および決算内容報告の件
第15回臨時評議員会 2017年3月24日 (みなし決議・報告による)	議案 ・理事・監事報酬等規程改定の件 ・2017年度事業計画および2017年度予算の件

5. 寄附金に関する事項

寄附者	寄附の目的	寄附金額
はまや印刷他3件	公益事業目的発展のため	137,000円

貸 借 対 照 表

(2017年3月31日現在)

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	27,891,367	20,709,360	7,182,007
前払金	9,837,340	3,307,800	6,529,540
流動資産合計	37,728,707	24,017,160	13,711,547
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
現金預金	15,007,044	13,588,044	1,419,000
投資有価証券	82,769,293,000	81,440,149,864	1,329,143,136
図書資料	2,794,423,593	2,709,762,243	84,661,350
基本財産合計	85,578,723,637	84,163,500,151	1,415,223,486
(2) 特定資産			
助成基金	19,493,473,147	19,394,321,039	99,152,108
杏雨基金	258,388,558	266,921,558	-8,533,000
資産取得資金	126,047,000	91,022,000	35,025,000
寄附者指定特定基金	3,349,324,417	3,309,544,052	39,780,365
建物	144,009,452	150,192,612	-6,183,160
特定資産合計	23,371,242,574	23,212,001,261	159,241,313
(3) その他固定資産			
建物	132,845,341	145,854,134	-13,008,793
什器備品	212,252,532	240,219,166	-27,966,634
ソフトウェア	12,262,366	17,568,023	-5,305,657
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	357,410,239	403,691,323	-46,281,084
固定資産合計	109,307,376,450	107,779,192,735	1,528,183,715
資産合計	109,345,105,157	107,803,209,895	1,541,895,262
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	10,874,675	9,770,339	1,104,336
未払費用	1,067,791	944,399	123,392
預り金	1,778,556	2,354,723	-576,167
流動負債合計	13,721,022	13,069,461	651,561
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	12,138,550	10,574,550	1,564,000
退職給付引当金	6,178,000	5,608,000	570,000
固定負債合計	18,316,550	16,182,550	2,134,000
負債合計	32,037,572	29,252,011	2,785,561
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	80,037,688,500	78,614,184,000	1,423,504,500
基本財産受取配当金利息	3,577,611,332	3,459,352,777	118,258,555
指定正味財産合計	83,615,299,832	82,073,536,777	1,541,763,055
(うち基本財産への充当額)	(80,122,349,850)	(78,614,184,000)	(1,508,165,850)
(うち特定資産への充当額)	(3,492,949,982)	(3,459,352,777)	(33,597,205)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	25,697,767,753	25,700,421,107	-2,653,354
(うち特定資産への充当額)	(5,456,373,787)	(5,549,316,151)	(-92,942,364)
正味財産合計	109,313,067,585	107,773,957,884	1,539,109,701
負債及び正味財産合計	109,345,105,157	107,803,209,895	1,541,895,262

正味財産増減計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2, 663, 074, 131	1, 940, 004, 056	723, 070, 075
基本財産受取配当金	2, 636, 911, 445	1, 914, 274, 037	722, 637, 408
基本財産受取利息	26, 162, 686	25, 730, 019	432, 667
特定資産運用益	525, 105, 469	525, 650, 242	-544, 773
特定資産受取配当金	468, 964, 080	468, 964, 080	0
特定資産受取利息	56, 141, 389	56, 686, 162	-544, 773
受取補助金	0	3, 510, 000	-3, 510, 000
国宝重要文化財等保存整備費補助金	0	3, 510, 000	-3, 510, 000
受取寄付金	137, 000	5, 340, 000	-5, 203, 000
受取寄付金	137, 000	5, 340, 000	-5, 203, 000
雑収益	7, 930	163, 987	-156, 057
受取利息	7, 930	163, 987	-156, 057
経常収益計	3, 188, 324, 530	2, 474, 668, 285	713, 656, 245
(2) 経常費用			
事業費	3, 136, 202, 294	2, 426, 422, 677	709, 779, 617
武田報彰医学研究助成金	270, 000, 000	210, 000, 000	60, 000, 000
生命科学研究助成金	300, 000, 000	210, 000, 000	90, 000, 000
ライフサイエンス研究奨励金	60, 000, 000	68, 000, 000	-8, 000, 000
医学系研究奨励金	585, 000, 000	472, 000, 000	113, 000, 000
薬学系研究奨励金	105, 000, 000	102, 000, 000	3, 000, 000
特定研究助成金	800, 000, 000	400, 000, 000	400, 000, 000
ビジョナリーリサーチ助成金	199, 000, 000	175, 000, 000	24, 000, 000
高等学校理科教育振興奨励金	12, 900, 000	12, 000, 000	900, 000
中学校理科教育振興奨励金	9, 300, 000	9, 000, 000	300, 000
杏雨書屋研究奨励金	4, 100, 000	4, 600, 000	-500, 000
外国人留学助成金	99, 276, 220	96, 404, 219	2, 872, 001
武田医学賞褒賞金	30, 000, 000	30, 000, 000	0
シボジウムスター褒賞金	3, 500, 000	3, 500, 000	0
医学部博士課程奨学助成	177, 400, 000	165, 400, 000	12, 000, 000
助成金等費用	31, 225, 115	30, 498, 898	726, 217
役員報酬	11, 194, 960	11, 194, 960	0
給料手当	35, 156, 728	33, 766, 541	1, 390, 187
役員退職慰労引当金繰入額	799, 640	799, 640	0
退職給付費用	950, 000	1, 975, 000	-1, 025, 000
福利厚生費	6, 967, 265	6, 954, 694	12, 571
会議費	31, 251, 991	29, 841, 707	1, 410, 284
旅費交通費	56, 084, 367	45, 159, 929	10, 924, 438
通信運搬費	4, 185, 382	5, 698, 848	-1, 513, 466
減価償却費	54, 943, 571	56, 567, 063	-1, 623, 492
消耗品費	6, 699, 835	4, 986, 678	1, 713, 157
修繕費	61, 208, 210	61, 119, 586	88, 624
印刷製本費	51, 915, 897	50, 603, 778	1, 312, 119
光熱水料費	1, 932, 457	2, 322, 669	-390, 212
賃借料	51, 747, 214	51, 648, 905	98, 309
保険料	8, 502, 593	8, 277, 951	224, 642
諸謝金	9, 472, 395	10, 155, 356	-682, 961
租税公課	14, 000	32, 000	-18, 000
委託費	39, 847, 095	40, 348, 766	-501, 671
広報費	16, 484, 262	16, 276, 656	207, 606
雑費	143, 097	288, 833	-145, 736

管理費	52, 122, 236	48, 245, 608	3, 876, 628
役員報酬	12, 887, 092	12, 290, 896	596, 196
給料手当	14, 451, 600	12, 744, 211	1, 707, 389
役員退職慰労引当金繰入額	764, 360	864, 360	-100, 000
退職給付費用	590, 000	370, 000	220, 000
福利厚生費	5, 955, 799	5, 852, 232	103, 567
会議費	1, 974, 258	1, 546, 497	427, 761
旅費交通費	2, 163, 620	1, 819, 640	343, 980
通信運搬費	376, 916	371, 034	5, 882
減価償却費	543, 429	700, 969	-157, 540
消耗品費	1, 807, 451	1, 504, 539	302, 912
修繕費	114, 694	0	114, 694
印刷製本費	351, 011	377, 013	-26, 002
光熱水料費	1, 668, 940	1, 880, 255	-211, 315
賃借料	2, 882, 612	2, 882, 545	67
保険料	145, 857	146, 089	-232
諸謝金	447, 147	496, 830	-49, 683
租税公課	0	400	-400
会計監査報酬	1, 620, 000	1, 620, 000	0
委託費	2, 892, 274	2, 351, 890	540, 384
雑 費	485, 176	426, 208	58, 968
経常費用計	3, 188, 324, 530	2, 474, 668, 285	713, 656, 245
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	-93, 439, 851	197, 447, 371	-290, 887, 222
基本財産評価損益等	-93, 439, 851	197, 447, 371	-290, 887, 222
特定資産評価損益等	90, 786, 497	-1, 864, 254, 802	1, 955, 041, 299
特定資産評価損益等	90, 786, 497	-1, 864, 254, 802	1, 955, 041, 299
評価損益等計	-2, 653, 354	-1, 666, 807, 431	1, 664, 154, 077
当期経常増減額	-2, 653, 354	-1, 666, 807, 431	1, 664, 154, 077
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-2, 653, 354	-1, 666, 807, 431	1, 664, 154, 077
一般正味財産期首残高	25, 700, 421, 107	27, 367, 228, 538	-1, 666, 807, 431
一般正味財産期末残高	25, 697, 767, 753	25, 700, 421, 107	-2, 653, 354
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金	0	3, 510, 000	-3, 510, 000
国宝重要文化財等保存整備費補助金	0	3, 510, 000	-3, 510, 000
基本財産運用益	2, 755, 170, 000	2, 755, 170, 000	0
基本財産受取配当金	2, 755, 170, 000	2, 755, 170, 000	0
特定資産運用益	642, 836	874, 103	-231, 267
特定資産受取利息	642, 836	874, 103	-231, 267
基本財産評価損益	1, 423, 504, 500	-13, 209, 509, 500	14, 633, 014, 000
基本財産評価損益	1, 423, 504, 500	-13, 209, 509, 500	14, 633, 014, 000
一般正味財産への振替額	-2, 637, 554, 281	-1, 918, 658, 140	-718, 896, 141
一般正味財産への振替額	-2, 637, 554, 281	-1, 918, 658, 140	-718, 896, 141
当期指定正味財産増減額	1, 541, 763, 055	-12, 368, 613, 537	13, 910, 376, 592
指定正味財産期首残高	82, 073, 536, 777	94, 442, 150, 314	-12, 368, 613, 537
指定正味財産期末残高	83, 615, 299, 832	82, 073, 536, 777	1, 541, 763, 055
III 正味財産期末残高	109, 313, 067, 585	107, 773, 957, 884	1, 539, 109, 701

正味財産増減計算書内訳表

2016年4月1日から2017年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財團

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計								法人会計	内部取引 消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通	小 計			
I 一般正味財産増減の部											
1. 経常増減の部											
(1) 経常収益											
基本財産運用益	26,162,686	0	0	0	0	0	2,585,134,821	2,611,297,507	51,776,624		2,663,074,131
基本財産受取配当金	0	0	0	0	0	0	2,585,134,821	2,585,134,821	51,776,624		2,636,911,445
基本財産受取利息	26,162,686	0	0	0	0	0	0	26,162,686	0		26,162,686
特定資産運用益	521,692,404	0	0	0	0	0	2,770,206	305,177	524,767,787	337,682	525,105,469
特定資産受取配当金	468,964,080	0	0	0	0	0	0	468,964,080	0		468,964,080
特定資産受取利息	52,728,324	0	0	0	0	0	2,770,206	305,177	55,803,707	337,682	56,141,389
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	137,000	137,000	0		137,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	137,000	137,000	0		137,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	7,930		7,930
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	7,930		7,930
経常収益計	547,855,090	0	0	0	0	0	2,770,206	2,585,576,998	3,136,202,294	52,122,236	3,188,324,530
(2) 経常費用											
事業費	2,475,651,898	327,819,790	49,801,740	61,017,684	22,873,176	196,037,536	470	3,136,202,294			3,136,202,294
武田報彰医学研究助成金	270,000,000								270,000,000		270,000,000
生命科学研究助成金	300,000,000								300,000,000		300,000,000
ライフサイエンス研究奨励金	60,000,000								60,000,000		60,000,000
医学系研究奨励金	585,000,000								585,000,000		585,000,000
薬学系研究奨励金	105,000,000								105,000,000		105,000,000
特定研究助成金	800,000,000								800,000,000		800,000,000
ビジョナリーリサーチ助成金	199,000,000								199,000,000		199,000,000
高等学校理科教育振興奨励金	12,900,000								12,900,000		12,900,000
中学校理科教育振興奨励金	9,300,000								9,300,000		9,300,000
杏雨書屋研究奨励金	4,100,000								4,100,000		4,100,000
外国人留学助成金		99,276,220							99,276,220		99,276,220
武田医学賞褒賞金			30,000,000						30,000,000		30,000,000
シンポジウム・ポスター褒賞金				3,500,000					3,500,000		3,500,000
医学部博士課程奨学助成		177,400,000							177,400,000		177,400,000
助成金等費用	23,675,000	180,000	2,250,000	250,000			4,870,115		31,225,115		31,225,115
役員報酬	4,379,200	2,365,580	981,820	437,920	218,960	2,811,480			11,194,960		11,194,960
給料手当	9,898,936	8,311,429	1,246,236	3,021,055	1,276,140	11,402,932			35,156,728		35,156,728
役員退職慰労引当金繰入額	312,800	168,970	70,130	31,280	15,640	200,820			799,640		799,640
退職給付費用	370,000	235,000	80,000	115,000	15,000	135,000			950,000		950,000
福利厚生費	1,519,940	920,437	697,210	920,436	0	2,909,242			6,967,265		6,967,265
会議費	11,639,638	3,416,491	4,296,053	10,593,123	119,915	1,186,741			31,251,991		31,251,991
旅費交通費	15,016,879	20,302,494	3,150,903	16,043,685	89,626	1,480,780			56,084,367		56,084,367
通信運搬費	1,051,863	656,458	49,561	54,023	1,750,458	623,019			4,185,382		4,185,382
被借償却費	1,590,946	866,461	504,421	503,165	502,328	50,976,250			54,913,571		54,913,571
消耗品費	2,677,864	1,723,555	751,673	292,731	0	1,254,012			6,699,835		6,699,835
修繕費	0	0	0	0	28,350	61,179,860			61,208,210		61,208,210
印刷製本費	29,089,060	1,469,989	971,254	63,337	15,285,821	5,036,436			51,915,897		51,915,897
光熱水料費	421,627	263,517	193,246	263,517	0	790,550			1,932,457		1,932,457
賃借料	2,979,879	3,685,552	2,880,274	2,880,400	2,880,199	36,440,910			51,747,214		51,747,214
保険料	8,937	3,373,266	8,937	8,937	8,937	5,093,579			8,502,593		8,502,593
諸謝金	3,621,404	648,640	751,410	1,942,109	490,028	2,018,804			9,472,395		9,472,395
租税公課	0	1,000	0	0	13,000	0			14,000		14,000
委託費	5,917,863	2,234,626	831,972	23,096,966	178,744	7,586,924			39,847,095		39,847,095
広報費	16,168,302	243,320	62,640	0	0	10,000			16,484,262		16,484,262
雜費	11,760	76,785	24,000	0	0	30,082	470		143,097		143,097

正味財産増減計算書内訳表

2016年4月1日から2017年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計							法人会計	内部取引消去	合 計
	研究助成	奨学助成	武田医学賞	国際シンポジウム	本草医書発刊	本草医書公開	共 通			
管理費								52,122,236		52,122,236
役員報酬								12,887,092		12,887,092
給料手当								14,451,600		14,451,600
役員退職慰労引当金繰入額								764,360		764,360
退職給付費用								590,000		590,000
福利厚生費								5,955,799		5,955,799
会議費								1,974,258		1,974,258
旅費交通費								2,163,620		2,163,620
通信運搬費								376,916		376,916
減価償却費								543,429		543,429
消耗品費								1,807,451		1,807,451
修繕費								114,694		114,694
印刷製本費								351,011		351,011
光熱水料費								1,668,940		1,668,940
賃借料								2,882,612		2,882,612
保険料								145,857		145,857
諸謝金								447,147		447,147
租税公課								0		0
会計監査報酬								1,620,000		1,620,000
委託費								2,892,274		2,892,274
雑費								485,176		485,176
経常費用計	2,475,651,898	327,819,790	49,801,740	64,017,684	22,873,176	196,037,536	470	3,136,202,294	52,122,236	3,188,324,530
評価損益等調整前当期経常増減額	-1,927,796,808	-327,819,790	-49,801,740	-64,017,684	-22,873,176	-193,267,330	2,585,576,528	0	0	0
基本財産評価損益等	-93,439,851							-93,439,851		-93,439,851
基本財産評価損益等	-93,439,851							-93,439,851		-93,439,851
特定資産評価損益等	99,328,856					-8,542,359		90,786,497		90,786,497
特定資産評価損益等	99,328,856					-8,542,359		90,786,497		90,786,497
評価損益等計	5,889,005					-8,542,359		-2,653,354		-2,653,354
当期経常増減額	-1,921,907,803	-327,819,790	-49,801,740	-64,017,684	-22,873,176	-201,809,689	2,585,576,528	-2,653,354	0	-2,653,354
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計								0	0	0
(2) 経常外費用										
経常外費用計								0	0	0
当期経常外増減額								0	0	0
当期一般正味財産増減額	-1,921,907,803	-327,819,790	-49,801,740	-64,017,684	-22,873,176	-201,809,689	2,585,576,528	-2,653,354	0	-2,653,354
一般正味財産期首残高										25,700,421,107
一般正味財産期末残高										25,697,767,753
II 指定正味財産増減の部										
基本財産運用益							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000	2,755,170,000
基本財産受取配当金							2,468,070,000	2,468,070,000	287,100,000	2,755,170,000
特定資産運用益							305,177	305,177	337,659	642,836
特定資産受取利息							305,177	305,177	337,659	642,836
基本財産評価損益							1,275,169,500	1,275,169,500	148,335,000	1,423,504,500
基本財産評価損益							1,275,169,500	1,275,169,500	148,335,000	1,423,504,500
一般正味財産への振替額							-2,585,439,998	-2,585,439,998	-52,114,283	-2,637,554,281
一般正味財産への振替額							-2,585,439,998	-2,585,439,998	-52,114,283	-2,637,554,281
当期指定正味財産増減額								1,158,104,679	383,658,376	1,541,763,055
指定正味財産期首残高										82,073,536,777
指定正味財産期末残高										83,615,299,832
III 正味財産期末残高										109,313,067,585

貸借対照表を会計区分していないため、一般正味財産期首残高、一般正味財産期末残高及び、指定正味財産期首残高、指定正味財産期末残高並びに正味財産期末残高は合計欄に記載している。

附 屬 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	10,574,550	1,564,000	0	0	12,138,550
退職給付引当金	5,608,000	1,370,000	800,000	0	6,178,000

キャッシュ・フロー計算書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 事業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	2,780,835,199	2,780,577,124	258,075
配当金収入	2,755,170,000	2,755,170,000	0
利息収入	25,665,199	25,407,124	258,075
特定資産運用収入	525,272,858	525,758,375	-485,517
配当金収入	468,964,080	468,964,080	0
利息収入	56,308,778	56,794,295	-485,517
補助金収入	0	3,510,000	-3,510,000
寄付金収入	137,000	5,340,000	-5,203,000
雑収入	7,930	163,987	-156,057
利息収入	7,930	163,987	-156,057
事業活動収入計	3,306,252,987	3,315,349,486	-9,096,499
2. 事業活動支出			
研究助成事業支出	2,473,491,343	1,779,182,212	694,309,131
奨学助成事業支出	329,803,946	300,704,622	29,099,324
武田医学賞褒賞事業支出	49,154,741	53,968,044	-4,813,303
国際シンポジウム事業支出	63,399,955	63,354,936	45,019
本草医書発刊事業支出	22,352,779	25,146,021	-2,793,242
本草医書公開事業支出	147,305,085	142,892,062	4,413,023
公益目的事業共通費支出	470	2,384	-1,914
管理費支出	51,073,190	45,637,419	5,435,771
事業活動支出計	3,136,581,509	2,410,887,700	725,693,809
事業活動によるキャッシュ・フロー	169,671,478	904,461,786	-734,790,308
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 投資活動収入			
基本財産取崩収入	798,581,000	479,572,681	319,008,319
基本財産普通預金収入	398,581,000	239,572,681	159,008,319
基本財産投資有価証券償還収入	400,000,000	240,000,000	160,000,000
特定資産取崩収入	2,885,816,350	2,262,044,364	623,771,986
特定資産普通預金収入	1,401,155,000	1,132,044,364	269,110,636
特定資産投資有価証券償還収入	1,400,000,000	1,130,000,000	270,000,000
特定資産寄附者指定特定基金取崩収入	84,661,350	0	84,661,350
投資活動収入計	3,684,397,350	2,741,617,045	942,780,305
2. 投資活動支出			
基本財産取得支出	883,242,350	534,636,767	348,605,583
基本財産普通預金支出	400,000,000	240,000,000	160,000,000
基本財産投資有価証券取得支出	398,581,000	239,570,000	159,011,000
図書資料取得支出	84,661,350	55,066,767	29,594,583
特定資産取得支出	2,960,621,715	3,144,397,123	-183,775,408
特定資産普通預金支出	1,400,000,000	1,130,000,000	270,000,000
特定資産投資有価証券取得支出	1,401,155,000	1,132,041,000	269,114,000
特定資産取得資金取得支出	35,025,000	35,277,000	-252,000
特定資産寄附者指定特定基金取得支出	124,441,715	847,079,123	-722,637,408
固定資産取得支出	3,022,756	794,880	2,227,876
什器備品購入支出	761,452	0	761,452
ソフトウェア購入支出	2,261,304	794,880	1,466,424
投資活動支出計	3,846,886,821	3,679,828,770	167,058,051
投資活動によるキャッシュ・フロー	-162,489,471	-938,211,725	775,722,254
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	0	0	0
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額	7,182,007	-33,749,939	40,931,946
VI 現金及び現金同等物の期首残高	20,709,360	54,459,299	-33,749,939
VII 現金及び現金同等物の期末残高	27,891,367	20,709,360	7,182,007

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
 ①満期保有目的の債券 債却原価法（定額法）によっている。
 ②その他有価証券（時価のあるもの） 期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は正味財産増減として処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっている。
- (2) 固定資産の減価償却方法
 ①建物 定額法によっている。
 ②什器備品 定額法によっている。
 ③ソフトウェア 定額法によっている。
- (3) 引当金の計上基準
 ①役員退職慰労引当金 役員の退職慰労金の支給に備えるため、理事・監事報酬等規程に基づく期末要支給額を計上している。
 ②退職給付引当金 職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期において発生していると認められる額を計上している。
- (4) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
 資金の範囲には、手元現金及び隨時引き出し可能な預金を含めている。
- (5) 消費税等の会計処理
 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
現 金 預 金	13,588,044	1,419,000	0	15,007,044
投 資 有 債 証 券	81,440,149,864	1,423,504,500	94,361,364	82,769,293,000
図 書 資 料	2,709,762,243	84,661,350	0	2,794,423,593
小 計	84,163,500,151	1,509,584,850	94,361,364	85,578,723,637
特定資産				
助 成 基 金	19,394,321,039	242,298,108	143,146,000	19,493,473,147
杏 雨 基 金	266,921,558	0	8,533,000	258,388,558
資 产 取 得 資 金	91,022,000	35,025,000	0	126,047,000
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,309,544,052	124,441,715	84,661,350	3,349,324,417
建 物	150,192,612	0	6,183,160	144,009,452
小 計	23,212,001,261	401,764,823	242,523,510	23,371,242,574
合 計	107,375,501,412	1,911,349,673	336,884,874	108,949,966,211

(注) 1. 基本財産の投資有価証券の当期増加額は株式の時価評価益であり、当期減少額はその他債券の時価評価損及び債却原価等である。

2. 特定資産の助成基金の当期増加額は株式の時価評価益であり、当期減少額はその他債券の時価評価損及び債却原価等である。

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に對応する額)
基本財産				
現 金 預 金	15,007,044	(0)	(15,007,044)	(0)
投 資 有 債 証 券	82,769,293,000	(80,037,688,500)	(2,731,604,500)	(0)
図 書 資 料	2,794,423,593	(84,661,350)	(2,709,762,243)	(0)
小 計	85,578,723,637	(80,122,349,850)	(5,456,373,787)	(0)
特定資産				
助 成 基 金	19,493,473,147	(0)	(19,493,473,147)	(0)
杏 雨 基 金	258,388,558	(0)	(258,388,558)	(0)
資 産 取 得 資 金	126,047,000	(0)	(126,047,000)	(0)
寄 附 者 指 定 特 定 基 金	3,349,324,417	(3,348,940,530)	(383,887)	(0)
建 物	144,009,452	(144,009,452)	(0)	(0)
小 計	23,371,242,574	(3,492,949,982)	(19,878,292,592)	(0)
合 計	108,949,966,211	(83,615,299,832)	(25,334,666,379)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物	166,165,775	22,156,323	144,009,452
その他固定資産			
建 物	179,460,183	46,614,842	132,845,341
什 器 備 品	323,976,215	111,723,683	212,252,532
ソ フ ト ウ ェ ア	40,318,164	28,055,798	12,262,366
合 計	709,920,337	208,550,646	501,369,691

5. 金融商品の状況

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源を受取配当金、受取利息によって賄うため、安全性の高い有価証券び定期預金等により資産運用している。なお、投機目的の取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びリスク

有価証券は、主に公社債及び寄附者からの出損・増資により保有する株式であり、配当方針、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されている。

定期預金は、預入先の信用リスクに晒されているが、預入先は信用度の高い銀行である。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

①金融商品の取引は、当法人の資金運用規則に基づき行っている。

②信用リスクの管理

有価証券については、発行体の財務状況や格付機関による格付状況を定期的に把握し、理事会等に報告している。

③市場リスクの管理

有価証券については、時価を定期的に把握し、理事会等に報告している。

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取配当金（目的達成による指定解除額）	2,630,728,285
基本財産受取配当金（減価償却費計上による振替額）	6,183,160
特定資産受取利息（目的達成による指定解除額）	642,836
合 計	2,637,554,281

7. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位：円)

前　期　末	当　期　末
現金預金勘定 預入期間が3ヶ月を超える定期預金	20,709,360 0
現金及び現金同等物	20,709,360
	現金預金勘定 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 現金及び現金同等物
	27,891,367 0 27,891,367

(2) 重要な非資金取引は以下のとおりである。

前　期　末	当　期　末
重要な非資金取引はない。	重要な非資金取引はない。

財産目録

2017年3月31日現在

公益財団法人 武田科学振興財団

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			27,891,367
現金	手元保管	運転資金として	114,370
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	"	2,496,854
普通預金	三井住友銀行十三支店	"	25,280,143
前払金			9,837,340
前払金	外国人留学研究者	留学助成金 4月分 前払金	6,384,900
	三井住友海上火災保険	外国人留学研究者対象 海外旅行保険包括契約 前払金	3,452,440
流動資産合計			37,728,707
(固定資産)			
基本財産			85,578,723,637
現金預金			15,007,044
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	15,007,044
投資有価証券			82,769,293,000
株式	(武田薬品(㈱)15,306,500株)		80,037,688,500
公益目的事業会計	13,711,500株	89.6%は公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の共通の財源として使用している。	71,697,433,500
法人会計	1,595,000株	10.4%は公益目的事業に必要な管理費の財源として使用している。	8,340,255,000
公社債			2,731,604,500
その他債券	第131回利付国債(20年) 第10回利付国債(30年) 第11回利付国債(30年) 第143回利付国債(20年) 第62回利付国債(20年) 第329回利付国債(10年) 第327回利付国債(10年) 第333回利付国債(10年) 第151回利付国債(20年) 第152回利付国債(20年) 第155回利付国債(20年) 第157回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。	299,375,000 110,920,000 288,624,000 178,080,000 105,570,000 263,925,000 147,336,000 256,392,500 447,400,000 111,720,000 150,822,000 371,440,000
図書資料		公益目的保有財産であり、本草医書公開事業に供している不可欠特定財産である。 (公益認定前取得額合計)	2,794,423,593 2,041,811,323
	本草関係書類	(故) 武田長兵衛氏 寄贈	2,488部 409,230,000
	東洋学善本	(故) 武田長兵衛氏 寄贈	1,337部 570,816,000
	本草・医書・関係書籍	武田薬品工業(㈱) 寄贈	16,586部 339,860,500
	医家墨蹟類	武田薬品工業(㈱) 寄贈	589点 23,745,000
	医療器具類	武田薬品工業(㈱) 寄贈	150点 3,700,000
	武田家文書	武田家 寄贈	2,396部 232,500
	村上文書	武田家 寄贈 (書状5,000通含)	909部 8,990,000
	洗心文庫追加	武田家 寄贈	195部 154,935,000
	羽田文庫	武田家 寄贈	758部 62,000,000
	医書関係書籍	1978年度購入阿知波文庫	1333部 8,665,350
	医書関係書籍	1991年度購入	4部 1,313,250
	半井家本医心方	1992年度購入	8部 236,900
	Siebold's Florilegium of Japanese Plants	1994年度購入	5部 937,300
	宋版 経史證類備急本草	1997年度購入	5部 203,940
	中華大辞典	1999年度購入	5部 308,700
	本草図譜	1999年度購入	1部 506,520

	東洋医学書善本叢書	2000年度購入	20冊	681,345
	本草肉摺	2000年度購入	4帙23冊	8,925,000
	黄帝内經素問諺解他	"	29冊	873,600
	医心方統編	2000年度購入	1冊	488,250
	萬金産業袋	2001年度購入	5冊	189,000
	中国本草全書	2001~2002年度購入	411冊	8,908,333
	金陵本 本草綱目	2002年度購入	7	236,250
	「蘭」川澄理三郎彩色 肉筆画	2002年度購入	109枚	1,260,000
	BOTANICAL CABINET	"	20冊2000枚	4,725,000
	HOOKER'S EXOTIC FLORA	"	3冊233枚	892,500
	THE BOTANICAL REGISTER	2003年度購入	34冊	7,875,000
	鴻寶秘要抄	"	1冊	682,500
	続添鴻宝秘要抄抜書	"	1冊	262,500
	江馬榴園書状集	2003年度購入	1冊	357,710
	衍義本草	2004年度購入	21冊	9,450,000
	医方大成	"	5冊	2,100,000
	医林類証集要	"	20冊	4,200,000
	世医得効方	"	20冊	4,200,000
	植物誌カナセン図書館 蔵本アクリル版	2005年度購入	1冊	1,197,000
	補遺雷公炮製便覽	"	13冊	350,000
	東洋医学雑誌復刻彙書	"	8冊	257,250
	常陸文庫	"	571部	74,970,000
	Grondbeginselen der scheikunde door A. L. Lavoisier	2006年度購入	1部	2,200,000
図書資料	長崎西家由緒書	"	1冊	252,000
	野間玄珍書状	"	1冊	170,000
	奈須玄盧・玄竹書状集	"	1冊	420,000
	帆足万里書状	"	1冊	252,000
	権田直助書状集	"	1冊	220,000
	ヘボン氏手術図以下 126点	2007年度購入	126点	22,050,000
	キニホフ植物印影図譜	"	1冊	4,200,000
	本草品彙精要写本	"	6冊	367,500
	松木文庫	2008年度購入	207点	126,000,000
	一神論・序聴迷詩所経	"	2巻	577,500
	曲直瀬道三自筆啓迪集	"	2冊	7,000,000
	森鷗外書簡卷	"	1通	1,400,000
	ベルセリウス：化学教書	"	6冊	660,000
	エウスタキオ画：解剖図表	"	1冊	450,000
	森鷗外自筆書簡	2009年度購入	1通	1,489,000
	香葉抄	"	1冊	7,896,000
	小関仁一郎書簡卷	"	1巻	300,000
	Molecular Structure of Nucleic Acids, Nature 171:1~3, 1953	"	19冊	15,579,900
	Watson JD and Crick			
	FHC他			
	二宮文庫	"	268点	52,500,000
	医方考	2010年度4月~11月購入	6冊	4,800,000
	意伝鈔	"	1冊	360,000
	ローベル：草木誌	"	1冊	2,173,500
	ラナウ：博物陳列室	"	1冊	282,555
	ショメル：家政事典 初版（フランス語）	2010年度4月~11月購入	1冊	724,500
	田中彌性園文庫	"	700点	65,724,750
	沢庵宗彭自筆刺針要致	"	1巻	1,260,000
	配済録他	"	3冊	1,462,960

医心方提要他	〃		13冊	2,276,960
			(以上、公益認定前取得) (以下、公益認定後取得)	
		(公益認定後取得額合計)		752,612,270
方薬順次要	2010年度1月購入	3冊	262,500	
lennec Stethoscope c. 1819	2010年度1月購入	1冊	1,575,000	
森鷗外草稿	2011年度購入	2冊	615,980	
石原保秀文庫	2011年(財)日本漢方医学研究所より寄附	2384冊	44,231,250	
新編俗解八十一難経図要	2011年度購入	1冊	1,200,000	
解剖学蘭訳初版	〃	1冊	6,500,000	
小曾戸文庫	〃	1802点	261,092,470	
Ontleding des Menschelyken	〃	1冊	1,995,000	
外科学入門	〃	1冊	367,500	
トーマス・パルトリ「解剖学」	〃	1冊	262,500	
師弟問答	〃	1冊	4,500,000	
曲直瀬道三書状	〃	1冊	650,000	
合薬直伝集	〃	1冊	350,000	
岡本玄治書状	〃	1部	157,500	
方肥剤	〃	1冊	340,980	
古医書写本	〃	9冊	560,980	
医学正伝	〃	8冊	945,980	
證類本草序列	〃	1冊	2,250,000	
ショル：日用百科事典	2012年度購入	16冊	1,575,000	
ハウティン：リンネの体系 にもとづく自然誌	〃	37冊	2,100,000	
マルネット：自然の教理問答	〃	4冊	81,900	
バスター：科学の楽しみ	〃	1冊	441,000	
シュブレンケル：植物学入門	〃	3冊	126,000	
ジャクソン：植物学入門	〃	1冊	79,800	
デイコス：王立植物園での実演による血液循環 および新発見に基づく 人体の解剖	〃	1冊	56,133	
檜林高秀静山、建吉巨 梅、宗建和山、高連峠 山像	〃	4幅対	100,000	
浅田栗園先生母堂栗園 宛消息	〃	4通	85,000	
鈴木松塘・菜蘭 浅田 栗園宛書簡他	〃	26通	250,000	
長崎医師笠戸正胤・西 道仙 浅田栗園宛書簡 他	〃	10通	200,000	
名家書簡	〃	46通54紙	2,625,000	
マルティン：哲学教師または 現代実験自然学概説	〃	1冊	94,500	
医学正伝	〃	8冊	7,500,000	
奥田・藤平文庫	〃	668点	13,760,460	
古文孝經	〃	1巻	12,055,970	
神農皇帝真伝灸図	〃	1冊	285,990	
校正本 救荒本草・救 荒野譜	〃	3冊	395,990	
草之名集 秋之部	〃	1冊	175,990	
新刊 大観本草	〃	20冊	1,759,990	
日本植物図譜	〃	1冊	1,088,990	
察病指南	〃	1冊	285,990	
意伝普救錄	〃	1冊	285,990	
節斎漫録	〃	3冊	2,210,990	
大成論抄	〃	1冊	340,990	
禽獸魚介蟲図譜	〃	4冊	1,759,990	

図書資料	医家本草家書状 大塚修琴堂文庫 中西深斎 尺牘	2013年度購入	1巻 2985点 1軸	420,000 139,987,890 380,000
	曲直瀬道三自筆所持本 醫方大成論・宜禁本草 素問入式運氣論與 重修政和經史證類備用 本草（巻十五～十七） 吉雄幸作・俊藏書簡 江馬春齡・蘭斎書簡 ターヘル・アナトミア 日本医史学会文庫 大阪華岡塾合水堂文庫		2冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 38点 319点	9,000,000 3,500,000 252,000 420,000 330,000 290,200 7,980,500 42,765,760
	レメリン「小宇宙図 譜」ラテン語&オラン ダ語 第3版	2014年度購入	1冊	1,296,000
	刈谷藩土本草学者宍戸 昌 自筆文書		12冊	525,000
	伊藤（圭介・延吉・篤 太郎）家伝來文書		9幅	5,450,000
	射駒山觀花書画 蘭畹摘芳草稿		1冊 1冊	270,000 1,700,000
	大阪華岡塾合水堂文庫 本間玄調肖像		12点 1幅	20,422,500 315,000
	ニーランド「ネーデル ラント薬用草木誌」	2015年度購入	1冊	540,000
	クルムス「ターヘル・ アナトミア」		1冊	3,078,000
	難波抱節自筆稿本・旧 蔵写本・版本一括		21冊	367,500
	二十八宿三微垣並星象 図		1冊	84,000
	家宝全書・清嘉錄・医 謬正俗難波抱節自筆本 解体新書		7冊 5冊	148,500 4,000,000
	古文孝經 玉機微義		1冊 12冊	8,500,000 6,500,000
	杉立文庫		26点	5,990,560
	古訓医伝葉能方法辨 傷寒論国字辨		5冊 1冊	36,750 31,500
	傷寒論辨正 傷寒外伝 五書剔髓 傷寒論識 傷寒論特解 家刻傷寒論 傷寒貫珠集 喻嘉言先生傷寒尚論篇 全書		1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 1冊	15,750 42,000 63,000 15,750 73,500 63,000 73,500 63,000
	金匱正辨 傷寒論劉氏伝 傷寒論轍義 傷寒論大意 キニホフ「Botanica in Originali Pharmaceutica.」 温知堂文庫 解体新書		1冊 1冊 1冊 1冊 1冊 619点 5冊	10,500 15,750 94,500 31,500 997,207 19,440,000 3,591,000

経史證類大觀本草	〃	25冊	1,200,000
本間玄調松延定雄（松延年）往復書簡・青山延光本間玄調宛書簡	2016年度購入	2巻	210,000
千魚一観録	〃	1冊	31,500
小曾戸文庫	〃	632点	80,935,050
スメリー「産科学解剖図録」	〃	1冊	1,404,000
時還読我書捷見	〃	1冊	270,000
參製口訣稿本 二種	〃	2冊	270,000
宋本素問版心文字錄	〃	1冊	162,000
遊仙窟	〃	1冊	270,000
劉向新序 十巻	〃	2冊	432,000
素女妙論	〃	1冊	64,800
素女妙論	〃	1冊	37,800
黃素之妙論	〃	1冊	129,600
黃素妙論	〃	1冊	129,600
釋糸付釋麻	〃	1冊	210,000
東大寺古文書	〃	1幅	105,000

特定資産 23,371,242,574

助成基金 19,493,473,147		
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。
定期預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。
投資有価証券	武田薬品㈱ 2,605,356株	公益目的保有財産であり、運用益を研究助成事業の財源として使用している。
株式		12,832,623
公社債		800,000,000
その他債券		18,680,640,524
	第326回利付国債(10年)	13,623,406,524
	第11回利付国債(30年)	5,057,234,000
	第137回利付国債(20年)	303,514,000
	第139回利付国債(20年)	180,390,000
	第329回利付国債(10年)	240,060,000
	第141回利付国債(20年)	710,940,000
	第62回利付国債(20年)	316,710,000
	第148回利付国債(20年)	240,240,000
	第149回利付国債(20年)	211,140,000
	第151回利付国債(20年)	468,040,000
	第337回利付国債(10年)	116,970,000
	第338回利付国債(10年)	335,550,000
	第339回利付国債(10年)	256,275,000
	第152回利付国債(20年)	154,965,000
	第155回利付国債(20年)	516,650,000
	第157回利付国債(20年)	223,440,000
	第159回共同地方債(10年)	107,330,000
		278,580,000
		396,440,000
杏雨基金 258,388,558		
普通預金	三井住友信託銀行大阪本店営業部	公益目的保有財産であり、運用益を本草医書公開事業の財源として使用している。
公社債		1,432,558
その他債券	第152回利付国債(20年)	256,956,000
		256,956,000
資産取得資金 126,047,000		
現金預金	公益目的事業会計	公益目的事業の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。
現金預金	法人会計	管理業務の用に供する固定資産の取得に充てるために使用している。
		3,280,000
寄附者指定特定基金 3,349,324,417		
現金預金	公益目的事業会計	公益目的保有財産であり、寄附者から指定された基金として公益目的事業及び公益目的事業に必要な管理業務の財源として使用している。
現金預金	法人会計	1,951,163,068
		1,398,161,349
建物	公益目的事業会計	144,009,452
	新南館書庫	144,009,452

その他固定資産				357,410,239
建物				132,845,341
公益目的事業会計	道修町ビル	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の建物として使用している。		20,654,636
法人会計	道修町ビル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。		112,190,705
什器備品				212,252,532
公益目的事業会計	(本草医書公開) 自動化書庫装置一式 道修町ビル1F展示室備品 道修町ビル4F 書架 プリンタ1台 両袖机1台 サーバー1台	公益目的保有財産であり、本草医書公開事業の什器備品として使用している。 〃 〃 〃 〃 〃 公益目的保有財産であり、奨学助成事業の什器備品として使用している。		143,610,644 55,281,044 10,264,859 132,825 138,432 659,925
法人会計	(管理費) サーバー1台 プリンタ1台 財団紹介DVD上映装置 道修町ビルデータ交換機、データ電話設備 会議室テーブル・OA収納テーブル	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。 〃 〃 〃 〃		2,164,803 153,555 123,568 280,962 778,590 828,128
ソフトウェア				12,262,366
公益目的事業会計	電子申請システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。		2,395,674
公益目的事業会計	自動化書庫関連システム	公益目的保有財産であり、本草医書公開のソフトウェアとして使用している。		9,133,428
公益目的事業会計	研究助成管理システム	公益目的保有財産であり、研究助成事業のソフトウェアとして使用している。		219,240
公益目的事業会計	外国人留学助成支援システム	公益目的保有財産であり、奨学助成事業のソフトウェアとして構築中である。		381,024
法人会計	財団紹介コンテンツプラザ	公益目的事業に必要な管理業務のソフトウェアとして使用している。		133,000
保証金				
法人会計	セコム警備保証金	公益目的事業に必要な管理業務に使用している。		50,000
固定資産合計				109,307,376,450
資産合計				109,345,105,157
(流動負債)				
未払金				10,874,675
未払金	有限責任監査法人トーマツ 常勤役員に対するもの 職員に対するもの 武田ヘルスケア・フィリピン	2016年度 監査費用未払分 2017年3月分 給与未払分 2017年3月分 給与未払分 外国人留学研究者航空券、45周年記念事業他 未払分		1,620,000 1,564,000 4,454,738 3,235,937
未払費用				1,067,791
未払費用	常勤役員・職員に対するもの	2017年3月分給与・期末手当 福利厚生費未払分		1,067,791
預り金				1,778,556
預り金		住民税の預り金 2017年2月分給与・期末手当所得税 預り金 2016年度 給与・期末手当 社会保険預り金		428,100 969,125 381,331
流動負債合計				13,721,022
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金 退職給付引当金	役員に対するもの 職員に対するもの	常勤理事2名に対する退職慰労金の支払に備えたもの 入団後2年超の職員6名に対する退職金の支払に備えたもの	12,138,550 6,178,000
固定負債合計				18,316,550
負債合計				32,037,572
正味財産				109,313,067,585

独立監査人の監査報告書

平成 29 年 4 月 20 日

公益財団法人 武田科学振興財団

理 事 会 御 中

有限責任監査法人 ト 一 マ ツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 吉 村 祥二郎

印

<財務諸表監査>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 2016 年度の貸借対照表及び損益計算書（公益認定等ガイドライン I - 5 (1) の定めによる「正味財産増減計算書」をいう。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表等に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、損益（正味財産増減）及びキャッシュ・フローの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

当監査法人は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 23 条の規定に基づき、公益財団法人武田科学振興財団の平成 29 年 3 月 31 日現在の 2016 年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

当監査法人の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

当監査法人は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人武田科学振興財団と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

監 査 報 告 書

平成29年5月8日

公益財団法人 武田科学振興財団

理事長 横山 巍 殿

監事 中山 俊治 ㊞

監事 夏住 要一郎 ㊞

私たち監事は、当財団の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの平成28年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項（同法第197条において準用する第99条第1項）並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上 の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに、会計監査人から、当該年度の監査計画及び実施した監査手続等の報告を受け、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正に監査を行っていることを確かめました。

以上 の方法によって、当該年度に係る貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む。）並びにその附属明細書並びにキャッシュ・フロー計算書並びに財務諸表に対する注記（以下「財務諸表等」という。）及び財産目録を監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示していると認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する理事会決議及びその体制下の理事の職務の執行は、相当であると認めます。

(2) 財務諸表等及び財産目録の監査結果

会計監査人有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は、相当であると認めます。

以上